

平成 2 9 年 度

事 業 報 告 書

公益財団法人 東京動物園協会

目 次

第1 運営の概要

I. 運営概要	1
II. 決算概要	2
III. 組織概要	3

第2 公益目的事業

I. 事業総括	6
〔1〕 決算額	6
〔2〕 管理施設	6
〔3〕 主な実施事項	6
II. 事業実績	18
〔1〕 動物飼育及び展示業務	18
〔2〕 野生生物保全業務	38
〔3〕 教育普及業務	40
〔4〕 受託業務	74
〔5〕 市民・団体との協働業務	76
〔6〕 危機管理対策	84

第3 収益事業

I. 事業総括	86
II. 事業実績	87
〔1〕 便益施設等の経営	87
〔2〕 その他の事業	88

第4 事務報告

I. 役員会議の開催	89
II. 監査	90
III. 人事関係	91

第1 運営の概要

I. 運営概要

平成 29 年度は、都立動物園・水族園がそれぞれの個性を存分に発揮するとともに、4 園一体運営の強みを活かすことにより、人と動物の共存への貢献、来園される方々により多くの感動と上質なサービスを提供することを目指して、各事業を展開した。

第一に、生物多様性保全の拠点として、各園で希少動物の繁殖を成功させたほか、研究教育機関と連携して研究・調査、生息域内・域外保全、保護増殖・野生復帰事業等に取り組み、高度な飼育繁殖技術の継承・蓄積に努めた。また、子ども動物園の新規オープンや、魅力的な企画展の開催等により教育プログラムの充実に努め、生物多様性保全に向けた気運の向上に努めた。

第二に、夏季の夜間開園や、鉄道事業者と連携した「Visit ほっと Zoo 2018」の実施、Twitter を活用した積極的な情報発信により来園者確保を図るとともに、案内サインの多言語化や語学力向上等により外国人来園者への対応力を高めるなど、動物園・水族園の魅力向上を図った。

第三に、2020 東京大会を見据えた関係機関とのテロ対処合同訓練、継続して各園で取り組む BCP 訓練等により、様々な危機への対応力を高めた。また、情報セキュリティの強化を図るとともに個人情報管理の規程整備等を行い、個人情報流出事故の再発防止と意識向上を図った。

第四に、引き続き園内整備工事に伴う施設の一時閉鎖等があるなか、来園者の安全管理を徹底した上で、「おもてなし」の気持ちが伝わる接遇の推進や、ジャイアントパンダの仔の成長や催事・展示等に合わせた魅力的な商品・メニューの提供等により、来園者サービスの向上に努めた。

各事業における主な取組み事項は、以下のとおりである。

事業区分	主な実施事項
公益目的事業	(1) ジャイアントパンダ、ニシゴリラ等の希少動物繁殖に成功し繁殖拠点の役割を果たすとともに、国内外の動物園・水族館とのネットワークを活用した動物導入や南極での生物採取等により、多様な生物による魅力的な展示を推進した。 (2) ニホンコウノトリの30年連続孵化に成功したほか、アカガシラカラスバト、ライチョウ、ツシマヤマネコ、カタマイマイ等の保護増殖事業に貢献した。 (3) 4園でキーパーズトークを拡充するとともに、子ども動物園で子どもの年齢に応じたふれあいプログラムを提供する等、教育普及活動の充実に努めた。 (4) 「ドリームナイト・アット・ザ・ズー」の取組みの各園実施や、移動水族館事業の展開等により、誰もが動物園・水族園の魅力を感じられる取組みを推進した。 (5) 夏季の夜間開園、正月イベント、「はな子とサクラ。」など季節ごとに様々な催事を4園で開催し、年間を通じた園の魅力向上に努めた。 (6) 葛西臨海水族園・恩賜上野動物園でテロ対処合同訓練を実施したほか、鳥インフルエンザに適切に対応するなど、様々な危機への体制構築を進めた。
収益事業	(1) 園内整備工事や店舗など施設の一時閉鎖等があるなか、ケータリングキッチンカーなどを活用し、来園者へのサービスの維持に努めた。 (2) 訪日外国人等を含む多様な来園者に対して、接遇力の向上に各種研修を実施し、商品開発では飼育など各部門との連携により、魅力的な商品の提供を行なった。

Ⅱ. 決算概要(正味財産増減計算書)

(単位：千円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業 会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用収益	2,445	—	3,704	6,149
特定資産運用益	2	—	—	2
受取会費	7,741	—	—	7,741
事業収益	37,762	3,470,004	—	3,507,765
受取寄付金	25,149	—	—	25,149
受取委託料	5,550,935	—	177,250	5,728,186
雑収益	5,288	9,019	364	14,672
経常収益計	5,629,322	3,479,023	181,319	9,289,664
(2) 経常費用				
事業費	5,908,740	3,034,316	—	8,943,056
管理費	—	—	273,195	273,195
経常費用計	5,908,740	3,034,316	273,195	9,216,251
評価損益等	0	△1,549	0	△1,549
当期経常増減額	△279,417	443,157	△91,876	71,864
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	18,303	30,749	8,006	57,058
(2) 経常外費用	0	2,273	0	2,273
当期経常外増減額	18,303	28,476	8,006	54,785
他会計振替額	190,640	△282,543	91,903	0
税引前当期一般正味財産額	△70,475	189,091	8,033	126,649
法人税等	—	61,000	—	61,000
法人税等調整額	—	△765	—	△765
当期一般正味財産増減額	△70,475	128,856	8,033	66,414
一般正味財産期首残高	358,641	1,188,126	288,952	1,835,718
一般正味財産期末残高	288,166	1,316,982	296,985	1,902,132
II 指定正味財産増減の部				
受取寄付金	111,761	0	0	111,761
一般正味財産への振替額	25,149	0	0	25,149
当期指定正味財産増減額	86,612	0	0	86,612
指定正味財産期首残高	78,236	0	0	78,236
指定正味財産期末残高	164,848	0	0	164,848
III 正味財産期末残高	453,014	1,316,982	296,985	2,066,980

Ⅲ. 組 織 概 要

〔1〕 協会の機構

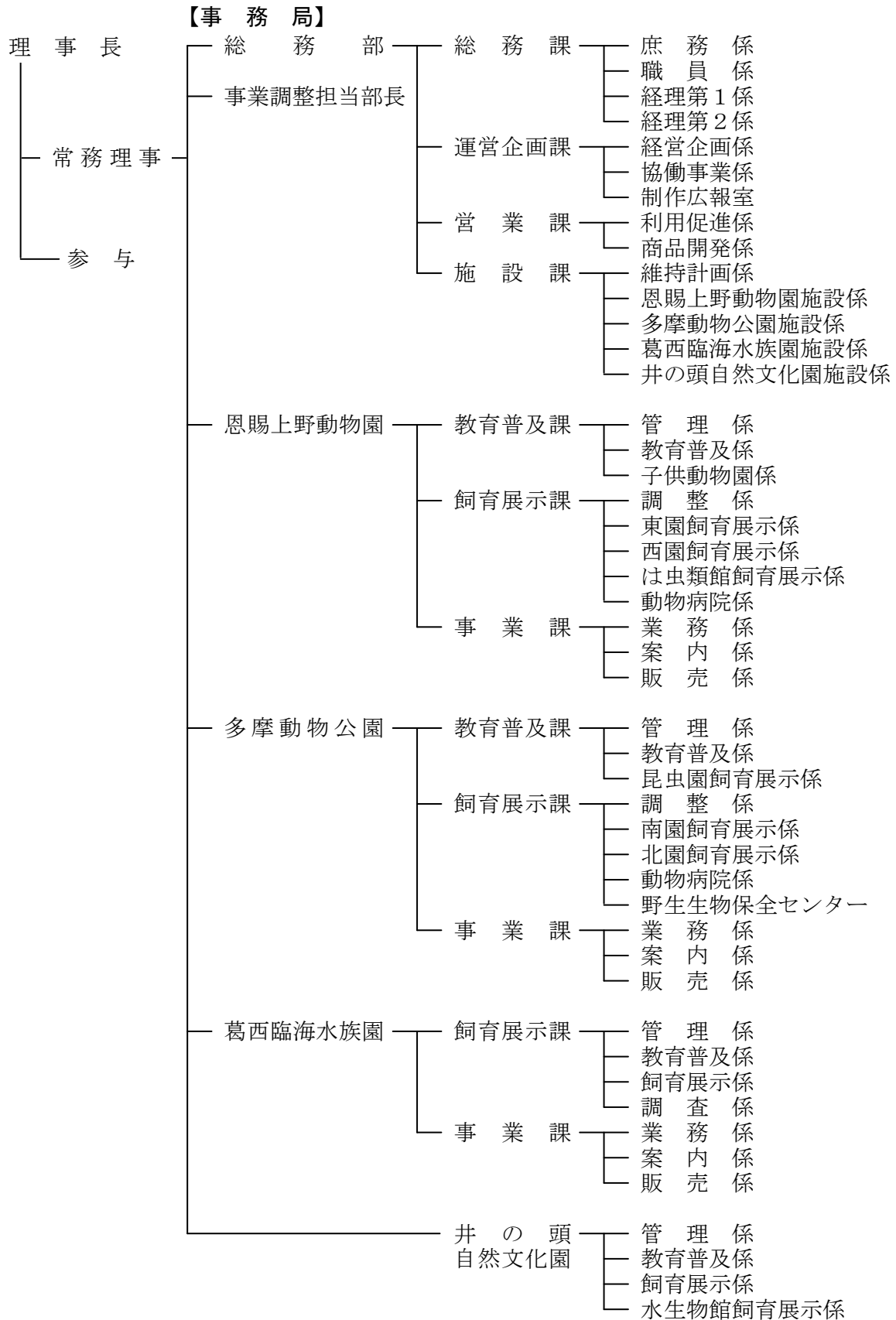
○ 総 裁 常陸宮正仁親王殿下

○ 会 長 貫洞哲夫

機関名	名 称	人数等	摘 要
1. 議決・監督 機関	評 議 員 会	17 名	
2. 執行機関	理 事 会	12 名	理事長・常務理事を含む
	理 事 長	1 名	
	常 務 理 事	2 名	
	参 与	2 名	
	事 務 局	4 部 13 課 47 係	
3. 諮問機関	顧 問	7 名	
4. 監査機関	監 事	3 名	
5. 協力機関	賛 助 会 員	5 名	
	準 会 員	3, 221 名	東京動物園友の会会員

(員数は平成 30 年 3 月 31 日現在)

〔2〕事務局組織



[3] 事務局職員数

(単位：人)

固有職員			都派遣職員			合 計		
職 員	嘱託員	計	職 員	再雇用	計	職 員	嘱託員 再雇用	合 計
192	137	329	109	0	109	301	137	438

(平成30年3月31日現在)

第2 公益目的事業

都立動物園・水族園4園の指定管理者として管理運営を行うとともに、動物園事業の発展・振興を図り、動物とその生息環境について知識を広め、人と動物の共存に貢献することを目的に、動物飼育及び展示業務、野生生物保全業務、教育普及業務、受託業務、市民・団体との協働業務を実施した。

I. 事業総括

〔1〕決算額 5,908,740千円

〔2〕管理施設

名称	住所	開園面積 (㎡)	摘要
恩賜上野動物園	台東区上野公園、池之端三丁目	144,048.73	
多摩動物公園	日野市程久保六丁目、七丁目、南平八丁目	601,372.54	うち無料開園区域 77,508.22㎡
葛西臨海水族園	江戸川区臨海町六丁目	85,958.90	
井の頭自然文化園	武蔵野市御殿山一丁目、三鷹市井の頭四丁目	115,500.00	

〔3〕主な実施事項

1. 4園共通

【飼育管理】

適正な動物飼育と魅力的な展示の充実に向け、都立動物園・水族園4園間での調整を図りつつ飼育展示業務を着実に実施した。また、高度な飼育繁殖技術の継承・発展を目指して、各園で教育普及・飼育展示研究会を定期的で開催しているが、29年度は臨時拡大飼育研究会として、哺乳類の人工繁殖の専門家であるヒルデブランド博士による職員向け講習会を実施した。園内外の会議・学会・研究会などへも職員を積極的に派遣しており、各方面の専門家との人的・技術交流により、最新の知識や技術の向上を図っている。動物の飼料の成分解析による飼料改善等、大学や各種研究機関との連携による共同研究等にも積極的に取り組んだ。また、日本動物園水族館協会との共催により、上野で「飼育下における動物福祉評価ワークショップ」を開催

した。

生物多様性保全の拠点として、野生生物保全センターを中心に、各園で希少種等の保全活動を推進しているが、29年度はジャイアントパンダをはじめ、ニシゴリラ、ユキヒョウ、チーターなどの繁殖が相次ぎ、4園でズーストック種及び保全対象種のうち、23種の繁殖に成功した。環境省が取り組む小笠原陸産貝類の保護増殖事業に協力し、4園の職員が小笠原の現地で研修後、上野・多摩にアナカタマイマイを、葛西・井の頭にカタマイマイを持ち帰り、繁殖への取り組みを開始した。このうち、アナカタマイマイは産卵・孵化にいたっている。

各園の飼育動物の適正な管理を図るため導入している動物個体管理システムについては、新たに各園貸借動物の一覧表の出力機能や完全一致検索機能を追加し、より迅速で効率的な個体管理の実現を図った。

【普及啓発】

野生生物や、野生生物が置かれた環境等についての普及啓発を進めるため、引き続き多様な媒体を活用し、様々なプログラムを実施した。

4園連携の企画としては、障がいを持つ子供とその家族を招待する「ドリームナイト(ドリームデイ)」の企画を平成29年度も開催した他、当協会が行う保全活動現場の見学会「アカハライモリの保全現場をたずねる」や、小学校教員を対象とした「授業に活かせる『動物園・水族園』講座」を引き続き実施した。また、講演会「小さなチョウをはぐくむ大いなる自然—小笠原の森林生態系」を多摩動物公園で開催し、都立動物園がすすめる小笠原の希少種保全の取り組みを広く伝えることができた。

訪日外国人来園者も年々増加傾向にある中、上野・多摩・井の頭では3園共同企画として「ZOOっとそばに。日本で暮らす生き物たち」を開催し、いろいろな角度から日本にすむ生き物たちにスポットをあて、普及啓発を行なった。

日本で始めて開園した上野の子ども動物園は、29年7月に「子ども動物園 すてっぷ」としてリニューアルオープンし、子どもたちが体験を通じて自ら発見し、考えることのできる様々なプログラムを新たにスタートさせた。

井の頭では「動物たちのえさの時間」として、園内14箇所でのフィーディングタイムを新たに開始したほか、各園とも園内での多様なプログラムや工夫を凝らした特設展・企画展、自然を体験するフィールドプログラム、野生生物の知識を深める講演会など、楽しみながら学べる動物園・水族園の実現に向けて、各種プログラムの充実に取り組んだ。

各園が行う教育普及事業を統括する部署として、新たに設置を検討している「教育普及センター」(仮称)について、その機能や各園の活動との関係について整理を行うなど、設置に向けた準備を進めた。

【利用促進・園内サービス】

来園者の要望や満足度を把握し、サービスの改善・向上を図るために、各園に様々な形で寄せられるご意見・ご要望をデータベース化し共有することに取り組んだ。今後、このデータベースを活用し、主な苦情・要望等を公表すると共に、利用者サービスの向上に努めていく。

恒例となった冬季の「VisitほっとZoo」キャンペーンをはじめ、夏季の夜間開園等における広告宣伝に加え、井の頭恩賜公園100周年イベントへの都立動物園・水族園ブースの出展や、「ザ★フォトZOOニック！」と題したインスタグラムを活用した新たなイベントの開催など、

機会をとらえ4園でのキャンペーンを実施し、各種媒体を活用した効果的な広告宣伝により都立動物園・水族園のPRに努めた。

増加しつつある訪日外国人来園者の動向を把握するため、各園の入場門でのWi-Fi電波観測による来園者国別推計調査や、上野公園内での動物園には来園していない外国人観光客へのヒアリング調査を行なった。また、インバウンド向けにPeach航空の台湾向けHP「桃旅厳選」や、訪日中の台湾人がよく閲覧する「BU BU NIPPON」というポータルサイトのFacebookアカウントに夏季イベントの記事広告を掲載するなど、各キャンペーンとも連動した様々な広告宣伝を実施した。

都立動物園・水族園のマーケティング計画策定のための試行として、多摩動物公園に関する認知度やイメージ、来園意向等に関する定量調査を行なったほか、調査結果に基づき、実際に来園した印象を踏まえたグループインタビュー調査を行なった。

このような様々な利用促進の取組みに加え、上野で生まれたジャイアントパンダの「シャンシャン」を12月から公開した影響も大きく、4園合計の入園者数は780万人を超え、昨年度を大幅に上回る結果となった。

【危機管理・情報セキュリティ対策・施設維持管理】

危機管理については、各園において、災害対策初動訓練、事業継続訓練、参集訓練、救急救命講習を引き続き実施するとともに、災害発生時は電話等の通信が困難になるため、MCA無線による通信訓練、職員安否確認メール訓練を定期的を実施し、大規模災害への備えを向上させた。また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据え、上野動物園、葛西臨海水族園では、警視庁と連携し、銃器、化学物質等の使用を想定したテロ対策訓練を実施した。

動物に関する危機管理対策としては、上野動物園でマレーグマの脱出を想定した猛獣脱出訓練を実施した。

情報セキュリティ対策については、多様化するサイバー攻撃への対策を組織全体で取り組む体制の強化を図った。人的な措置として全職員へのeラーニング、標的型メール訓練、各園担当者への集合研修を実施した。物理的、技術的な措置として多層防御の仕組みを継続し、ネットワーク機器やソフトウェアの運用管理を徹底することで、年々巧妙化するウイルスへの対策を行った。また、進化するITサービスへの対応としてクラウドサービスを活用するための導入手順書を策定し、未知の脅威を防ぐ体制の構築を図った。さらに、個人情報の適切な管理のため「個人情報の保護に関する規程」を改正し、情報管理の3原則（機密性、完全性、可用性）を確保した。

施設維持管理については、施設の故障や不具合、樹木の枯枝や異常を早期に発見し、迅速に対応することで、園内の安全で快適な環境を確保した。台風、集中豪雨、大雪等の災害に対しては、気象災害対策計画書や雪害対策計画書に基づき的確に行動し、被害防止を図った。

省エネ対策として、既存照明のLED化を進めるとともに、省エネ効果の高い設備への更新により、環境負荷が少ない施設づくりを推進した。また、トイレの洋式化、スロープの設置、扉の自動ドア化等により、バリアフリー対策を推進した。

園内の植物を動物園の緑の資源として活用するための研究会を開催し、「動物園の緑を活用する39のヒント」という冊子にまとめた。

2. 上野動物園

【飼育・繁殖】

ジャイアントパンダは、平成29年2月27日に交尾が確認され、6月12日にシンシンが5年ぶりに子どもを出産した。出産日前から中国の専門家が来日し、出産後も引き続き2ヶ月半にわたり指導を受けながら母子の健康管理を行い、12月19日からは一般公開を開始したが、年度末まで順調に成長した。

ニシゴリラは、29年10月9日にモモコが第5子となるオスの子どもを出産した。昨年の死産から約1年後の出産であったが、順調に成長している。

アイアイは、29年5月1日にフアーヴィがメスの子どもを出産し、30年3月27日にはソアも子どもを出産した。

ツチブタは、29年4月13日にメスの子どもが誕生し、人工哺育により5年ぶりに生育した。

【保全活動】

アカガシラカラスバト、ライチョウ、ルリカケス、アマミトゲネズミなどのほか、新たに、アナカタマイマイやミヤコカナヘビの保全・繁殖に取り組んだ。

アカガシラカラスバトは6羽孵化し、うち3羽が人工育雛により成育、1羽が育雛中である。多摩動物公園との間で個体の入れ替えも実施した。生息域内保全についても、小笠原における定期的な報告会での発表を行うなど、積極的に活動を行った。

平成27年度に本格的に開始したライチョウ保護増殖の取組みは、28年度に生息域内から採卵し孵化した個体を用いて、飼育下での繁殖を行った。適正なペアで同居を行ったところ、交尾、産卵が見られた。今年度は関係飼育園間での受精卵の移動も行い、これらも含め、計4羽の雛が得られた。

ライチョウ、アカガシラカラスバトの飼料に関する研究については日本獣医生命科学大学との共同研究により継続実施した。

ルリカケスは、3個の産卵が見られたものの、全て無精卵であり今年の繁殖はなかった。また、奄美大島からの創始個体についても、昨年に続き捕獲直前で巣箱内の雛が消失し、新たな個体を搬入することはできなかった。

今年度、新たに環境省からの依頼により小笠原世界遺産センターからアナカタマイマイを導入して保全の取組みを開始し、30年2月には孵化も確認した。29年10月にはミヤコカナヘビ11頭も導入し取組みを開始した。28年度に4頭を導入して保全の取組みを開始したアマミトゲネズミは、今年度も3頭を追加導入した。

【教育普及・催物等】

平成29年7月に「子ども動物園 すてっぷ」をリニューアルオープンした。現代の子どもたちに向けた「学び」の機能を充実させ、3歳までの子どもたち専用の「はじめてルーム」、不忍池の生き物たちについて学べる「しのぼずラボ」、小動物に直接触れながら動物の体や命の大切さについて学べる「わくわくベース」を新たに創設した。しのぼずラボでは、学習院大学及び協定を締結している東京農工大学の協力を得て、来園者に向けた環境教育プログラムの開発を行った。体験プログラム等への参加には事前発行の整理券制を導入、学校団体の利用はインターネット上で予約できるようにするなど、利用者の利便性にも配慮した。

この施設整備にあたっては東部公園緑地事務所との協力の下、上野動物園の統一的デザイン

に基づき、多言語に対応した分かりやすいサインを作成した。

また、ジャイアントパンダの繁殖により多くの注目を集める中、30年2月にジャイアントパンダ「リーリー&シンシン」来園7周年記念シンポジウム「上野動物園の限らない挑戦」を開催し、多くの来場者に困難を乗り越え成功した繁殖の取組みを伝え、保全の必要性を訴えた。

28年度より認定NPO法人トラ・ゾウ保護基金や上野観光連盟との連携の下、実施していた第2期「うへのトラ大使」の活動において、30年1月及び2月に台東区立上野小学校、忍岡小学校でトラの生態や保全の大切さを伝えるアウトリーチ活動を実施した。

さらに、30年3月には世界自然保護基金（WWF）が主催し、人々へ環境保全への取組みを促す「EARTH HOUR 2018」に協力し、ジャイアントパンダをサポートズへ登録、東京スカイツリーでおこなう消灯イベントに職員を派遣した。

【維持管理・園内サービス】

平成29年7月11日から子ども動物園すてっぷと同時に新弁天門の運用を開始した。新弁天門は新たに入場門や救護室、授乳室などの機能を有しているため、案内スタッフや警備員を新たに配置し、来園者への案内誘導や団体受付、入場料徴収事務作業を実施した。

また、6月12日に生まれたジャイアントパンダ「シャンシャン」を12月19日から一般公開するに当たり、園内外における来園者の混乱を想定し、より安全に観覧していただくため、上野動物園では初めてとなる事前抽選による観覧方式を実施した。同時に、一定時間一定人数による観覧誘導や当選者への観覧受付を実施するため警備員等を増員し、サービスの維持向上に努めた。30年2月1日からは、事前抽選方式から整理券配布方式へ変更となり、早朝から多くの来園者が表門前に待機する状況が見受けられたため、職員や警備員による混雑整理や案内誘導を更に強化した。

園内サービスでは、28年度に引き続き、近年増加傾向にある外国人来園者の満足度向上を目的とした「おもてなしPT」を開催し、ベジタリアン向けメニューの開発や案内図・サインの見直しなど、新たな取組みを実施した。また、接遇スタッフへの英会話研修、タブレット端末を利用した通訳サービスの利用、入場門での外国人来園者調査等、多言語対応に向けた取組みについても継続実施した。

便益施設では、新弁天門運用開始に合わせ、弁天門付近にてベビーカー貸出所とコインロッカーの運用を開始した。ベビーカー貸出所では、利用者の満足度向上のため、運用開始以来初めてとなるベビーカーのフルモデルチェンジを行った。また、昨年度に引き続き、東食売店及び東園食堂の閉店による飲食提供施設の補完としてキッチンカーの出店等を実施し、来園者の利便性向上に努めた。更に、園内唯一の屋内休憩施設となった西園無料休憩所について、老朽化したホール床材の張替え等の部分改修を実施し、より快適な休憩スペースの提供を推進した。

危機管理対策では、3年後に控えた「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」に向けて国内のテロ対策が強化される中、29年12月4日に、警察と連携したテロ対策訓練を上野動物園として初めて実施した。

園内維持管理では、老朽化した西園高圧ケーブルの交換補修を行いインフラ整備に従事したほか、園路の不陸部分の舗装や、園内樹木の枝処理など、利用者の快適性の向上と安全確保に努めた。また、上野公園内で開催された「創エネあかりパーク2017」に協力し、表門前への動物型電飾の設置を行った。

3. 多摩動物公園

平成29年度も希少野生動物の飼育展示・繁殖に努め、30年連続でのニホンコウノトリを始め、ユキヒョウ、チーター、レッサーパンダ、キリン、ゴールデンターキン、モウコノウマ等、様々な種において繁殖に成功した。また、飼育動物の血統更新のため、国内外の動物園と連携しチンパンジーの個体交流を図った。これらの結果、6年ぶりのユキヒョウの繁殖や、年間2度のチーターの繁殖等により、園内の魅力向上が図られた。

飼育関連では、オーストラリア連邦タスマニア州政府の取り組む「セイブ・ザ・タスマニアデビル・プログラム」により、新たに雄個体2頭を受入れ、展示が増強された。また、ゾウの安全な飼育体制構築のため、前年度に引き続き、アメリカのゾウのトレーニングの専門家を招聘する中で、32年公開予定の新アジアゾウ舎へ高齢の雄ゾウ、アヌーラを一足早く無事に移動した。更に獣舎の建て替え工事に備えて、グレビーシマウマ、シロオリックス、ダチョウを園内各所に移動し、分散飼育を始めた。

【保全活動】

生息域内、域外の両面において保全活動の取組みを強化している。トキについては繁殖した5羽を佐渡トキ保護センターへ搬出したほか、業務委託計画に基づく定期健康診断の実施等により佐渡での保護増殖事業に協力した。ニホンコウノトリでは、IPPM-OWS（コウノトリの個体群管理に関する機関・施設間パネル）の計画に従って放鳥個体の遺伝的多様性を維持するため、平成25年から、コウノトリの郷公園に多摩生まれの卵の輸送を実施している。また、生息域外保全の成果として、30年連続でのニホンコウノトリの繁殖、4年連続してニホンイヌワシの繁殖に成功した。さらにオガサワラシジミでは、園内施設を用いての交配、累代繁殖および周年飼育に成功した。小笠原で生息状況が急激に悪化している小笠原産陸産貝類であるアナカタマイマイの生息域外保全の取組みを始めた。

生物工学分野では、EIA法によるホルモン測定を実施し、チーター、ツシマヤマネコ、イワトビペンギン、キョン（大島公園動物園飼育個体）等の繁殖生理の解明に役立てている。PCR法を用いた鳥類・哺乳類の性判別は、29年度には計44種255検体について実施した。また、ミトコンドリアDNA解析では、新たな生息を確認した地点を含むメダカ地域個体群解析、小笠原で採取したアカガシラカラスバトのサンプルからハプロタイプ解析、園内定着を目指すゲンジボタル群の由来確認のための解析、動物園周辺に生息するアズマヒキガエルの交雑調査等を行った。これらは保全指針を決める一助となっている。

普及啓発分野では、小笠原における野生生物保全について、島民および一般市民への普及啓発を目的に、25年度より、東京都、小笠原村や地元組織等と連携し、島と本土で講演会等を実施している。また、IPPM-OWSと協力し、26年度から毎年コウノトリに関する講演会等を開催している。

【教育普及・催物等】

一般来園者向けの教育プログラムとしては、動物解説員によるガイドツアーやタイムリーガイド、飼育担当者によるキーパーストークのほかに、小さな子どもも気軽に参加のできるクイズラリーやスタンプラリーなど、事前応募の必要がなく気軽に参加できるものを中心に実施した。また、夏期のサマーナイトでも屋外でのトークショーや上映会、ミステリーツアーなど、誰もが楽しく学べるプログラムに力を入れた。

また、子ども向けの教育プログラムとしては毎年実施しているサマースクールのほかにもカブトムシ教室やオランウータンワークショップなど、体験を重視したプログラムを開発し、実施した。いっぽう大人向けのプログラムはタスマニアデビルや日本の伝統芸能と動物をテーマにした講演会、講師との会話を楽しむサイエンズカフェ、4園連携の「大人のための動物園・水族園講座」など、様々な内容で実施した。

学校との連携では、動物園での動物観察の支援や身近な昆虫への関心を引き出すプログラムを中心に、幼児から大学生と幅広い年齢の団体を受け入れた。モルモットのふれあい活動では学校団体の受入数を増やし、新たなプログラムの開発に取り組んだ。

教員研修としては、「虫が苦手！そんな先生のための昆虫教室」「東京都教師養成塾の研修受入」「小学校教員対象セミナー」「教職員採用前研修」などの実施を通し、動物園と学校教員の連携強化を図った。

特設展はアフリカ園食堂の工事のためウォッチングセンターの限られたスペースでの開催となったが、タスマニアデビルやコウノトリの繁殖をテーマにしたパネル展、干支にあわせたタヌキ展やオオカミ展などを開催した。とくに干支展は雑誌広告風のデザインが目を引き、多くの方にタヌキやオオカミの魅力を伝えることができた。

その他、日本自然保護協会や埋蔵文化財センターとの共催プログラムとともに、世界ゾウの日企画や日本産動物企画など都立3園や他機関との連携にも力をいれた。

【維持管理・園内サービス】

安全・快適に園内を利用できるよう、舗装補修や自動ドア、落石防護網の設置などを行った。また倒木や落枝対策として、樹木点検・診断に基づく伐採・剪定処理や枯れ枝除去を継続した。園内環境や動物飼育環境を支える基盤となる電気・機械設備に関しては、定期的な保守点検に加え、常に十分に機能発揮するよう、不具合箇所については迅速に修繕を行った。

省エネ対策としての照明のLED化や、快適性向上策としての園内トイレの洋式化やシャワートイレ化にも引き続き取り組んだ。更に、適正かつ快適な飼育環境確保のため、建物点検で不具合の指摘されたシカ舎の餌小屋改修のほか、各所動物舎の扉や飼育室床、放飼場などを改修した。

加えて、園内の魅力向上策として、植物を用いた動物園らしい景観形成に取り組み、アフリカゾウ放飼場付近で、アフリカ原産のアロエ等の展示植栽を行った。

無料開園区域である七生公園については、適正な園地管理のため、草刈や林床整理、樹木管理等を行ったほか、管理の基礎資料として環境調査を継続している。

売改札スタッフの接客力向上を目的に、外国人来園者対応を念頭とした英会話講習、聴覚障がい者対応を念頭とした手話講習を継続実施した。また、外国人来園者対応として導入した映像通訳タブレット端末を増設した。更には、救命講習（赤十字救急法救急員養成講習や上級救命講習など）に積極的に参加し、傷病者対応における初動対応としての応急手当や搬送などの知識と技術の習得に努めた。

災害時の備えとして、緊急時自動放送設備に「緊急地震速報発表時対応」を追加した。

4. 葛西臨海水族園

【飼育・繁殖】

平成29年度は、年度当初にマグロ大水槽において漏水事故が発生したが、排水管途中の亀裂が原因であることが判明し、循環経路には直接影響を受けなかった。本水槽は、クロマグロ、スマ、ハガツオ等を3年連続で追加したことにより、26年の飼育尾数の減少以来ようやく平常の尾数の約200尾となり、再び大きく成長したクロマグロを展示することができた。また、スマやハガツオも産卵するようになった。大水槽の2ヶ所には、仕切りを設置することでアクアシアター側と擬岩側に分割し、擬岩側で主にスマやハガツオ、アオウミガメなどを、アクアシアター側でクロマグロを展示するようにしている。生物の繁殖にも積極的に取り組んでおり、「カナダ西岸」水槽で展示しているチューブスナウトや「南極Ⅰ」で展示しているグリプトノートゥスアンタルクティクス、鳥類ではフェアリーペンギンやイワトビペンギン、ウミガラス、エトピリカなどが繁殖した。この他、東京産の両生類では、ニホンアカガエル、アカハライモリが繁殖した。

【保全活動】

保全活動として、井の頭自然文化園、多摩動物公園、上野動物園と共同でアカハライモリやミナミメダカの調査を継続的に行った。親子向け観察会の開催、国立研究開発法人森林総合研究所と連携し、多摩市立連光寺小学校への体験授業を通年で実施するなど、生息地での保全活動とともに普及活動に年間を通して取り組んだ。また、「東京めだか」では生息の確認・情報提供があった地点などからサンプリングを行い、DNA分析調査を行っている。また、葛飾区施設で飼育しているミナミメダカの飼育環境悪化に伴い、緊急的な保護を行い、70個体を園に搬入した。トビハゼは、東京湾内で調査研究を行っている8施設による「トビハゼ保全施設連絡会」を水族園が事務局となり引き続き実施した。6月には、江戸川放水路において、連絡会のメンバーが協力して解説を行うトビハゼ観察会を行い、また展示水槽において、来園者に東京湾のトビハゼの現状を伝えるとともに、繁殖研究も行っている。ゼニタナゴについては、屋外水槽において秋に二枚貝を用いて採卵を行い212尾の稚魚を育成することができた。また、産卵に用いる二枚貝の安定した飼育も可能となってきている。

【教育普及・催物等】

3年目となった移動水族館事業は障がいや病気などのために来園することが難しい方々のいる特別支援学校、病院、社会福祉施設、また教育を目的としたイベント等を対象に合計64回を実施し、海の生き物に親しむ機会を提供した。

園内外の教育活動では、特設展示や講演会、教育プログラムの開発・実施、既存教育プログラムの見直しと更なる充実に継続的に取り組んだ。

特設展示としては、7月20日からウナギをさまざまな角度から取り上げた特設展「うなぎのつかみどころ」を、12月14日から普段展示では見せることができない生き物を取り上げた特設展「見えない海の生き物たち」を開催した。また、世界の海エリア、南極・北極コーナーに、南極海最大級の魚アンタークティックトウスフィッシュ（ライギョダマシ）の標本展示を始めた。これは、平成28年に連携協定を締結した大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立極地研究所（極地研究所）から提供を受けたものである。

講演会としては、11月12日に「モシルンチカハ ～島にいる海鳥たち～」として3名の外部

講師をお招きし、水族園職員1名の演題を加え実施した。2月11日に「大人のためのスイート講演会／子育てをめぐるオスとメスのかけひき」として、2名の研究者を招いて開催した。井の頭自然文化園・多摩動物公園野生生物保全センターとの共催による講演会は、3月18日に「身近な水辺の生き物を守る」として外部講師1名を招き、水族園職員1名の演題を加えて実施した。

教育プログラムとしては、学年別シリーズプログラムに幼稚園年長～大学生までのほぼ全ての年齢を対象とした学年別シリーズプログラムをそろえた。一部のプログラムについては、プログラムの改善につながる評価研究を東京大学の協力のもと行った。フィールドプログラムにも積極的に取り組み、5月には葛西海浜公園サービスセンターと、7月には江戸川区の施設と共催して、「西なぎさ」での観察会を実施した。

水槽周りの情報の充実、多言語化をより進め、「世界の海」エリアの展示サインは完了した。また、「東京の海」エリア、「東京湾 泥干潟」の解説パネルを多言語化して設置した。その他、夏の開園延長時の「ナイト・オブ・ワンダー」、障がい者向けの「ドリームナイト」、開園記念イベント「帰ってきた! All About MAGURO」では2年目を迎えたハワイの海を舞台にしたミュージカル「ホヌ・バイ・ザ・シー」を実施し、多くの参加者で賑わった。また、引き続き大人限定のガイドツアーなど、幅広い来園者が楽しめ、学べる普及活動を行った。

【維持管理・園内サービス】

経年劣化や故障による機器や配管類は適宜、補修を行っているが、予防保全の考え方を取り入れて不具合発生前に補修や改修を行い、施設停止の影響を最小限に留めた。

園内樹木は、植樹から30余年経過し育成から成熟の時期を迎え、樹形を考慮しながら剪定と世代交代を考慮した間伐を行い、健全な生育と自然環境の創出と保全を行った。また1ヶ月の閉園後の再開園に際し、来園者へのおもてなしとして、売札所脇の左右の壁面を花鉢で飾るフラワーウォールを設置した。

夏季における園内サービスとしては、観覧通路・無料休憩所における扇風機による送風（夏季空調温度抑制対策による冷房補助対策）、無料休憩所外周窓の緑のカーテン（リュウキュウアサガオ）による緑陰の提供、空の広場における間欠式散水による来園者への輻射熱対策、ミスト扇風機の導入（水の広場売店周辺、売札所）、氷柱の設置（ゲート棟）、よしずテントの設置（ペンギンテラス、レストランテラス）など来園者への涼感の演出及びサービスを行った。

新たな来園者サービス向上の一環として、正門前と空の広場にカメラやスマートフォンでセルフ撮影ができる架台の設置や、来園者アンケートにおいて要望の多い園内スタンプラリーを実施した。更に、売札所周りの情報の充実や多言語化対応を進めた。

案内接客スタッフのコミュニケーションスキルの向上のため、外国人来園者対応を念頭においた英会話講習を継続実施したほか、聴覚障害者対応を目的とした手話講習を新たに実施した。また、専門講師による呼吸法、発声、活舌等を中心としたボイストレーニング・アナウンスメント研修を継続実施し、接客および園内放送における対応力向上に努めた。

5. 井の頭自然文化園

【飼育・繁殖】

平成29年度、動物園（本園）では5月22日に福島県のアクアマリンいなわしろカワセミ水族館からユーラシアカワウソのメス1頭を導入した。これは（公社）日本動物園水族館協会生物多様性委員会の種管理計画の一環であり、当園の役割は展示を通じて本種の保全に関する普及啓発活動を推進することである。

8月19日にはマーラの子が1頭誕生し、生後4日目から公開を開始した。マーラはテンジクネズミ科に属する大型の齧歯類で、生まれたときには既に毛も生え揃い、眼も開いていて、すぐに立ち上がることもできるため、親をそのまま小さくしたような愛くるしい姿は来園者に好評であった。また、2月9日にはフンボルトペンギンの雛が1羽孵化し、順調に生育している。

水生物園（分園）では、7月から9月にかけて水生昆虫の繁殖が順調であり、かつては水辺の身近な生き物であったタイコウチ、タガメ、ゲンゴロウなどの展示が充実したものとなった。10月26日にはクロツラヘラサギのメス2羽、12月25日にはコウノトリのオス1羽を多摩動物公園から導入した。環境省のレッドリストでは、クロツラヘラサギは絶滅危惧ⅠB類、コウノトリは絶滅危惧ⅠA類で、今後は展示を通じてこれらの種の保全に関する普及啓発活動を推進していく。

【保全活動】

ツシマヤマネコの保護増殖事業では、日本動物園水族館協会が策定した飼育下繁殖計画におけるツシマヤマネコの「人工繁殖推進施設」として、人工授精の実施に取り組んできた。

平成29年度は12月2日に九十九島動植物園からオスNo.45を、12月3日に京都市動物園からメスNo.66を受け入れ、当園で以前から飼育しているオスNo.50の3頭を供し、30年1月6日に人工授精を試みた。オスNo.45からカテーテル法と電気刺激法で精液採取を行ったが、充分量（約800万以上）の精子が採取できなかったため、去勢による精巣上体精子の回収を行ったが、それでも約10万の精子しか得られなかった。No.50からはカテーテル法により約1,000万の精子が採取されたため、電気刺激法は実施せず、オスNo.45からの精子全量を左卵管へ、オスNo.50からの精子全量を右子宮角へそれぞれ注入した。その後、2月7日にメスNo.66のエコーによる妊娠診断を実施したが、妊娠していないことが判明した。

アカガシラカラスバトの保護増殖事業では、飼育下個体の大多数が上野動物園で飼育されている現状を踏まえ、危険分散と展示を通じた一層の普及啓発の推進のため、30年2月16日に上野動物園からオス、メス各1羽を導入し、3月11日から展示を開始した。展示のみならず、今後の必要に応じて繁殖にも取り組む予定である。

また、29年度から新たに小笠原諸島父島に生息する陸産貝類（いわゆるカタツムリ）の絶滅危惧種であるカタマイマイの生息域外保全を開始することとなり、29年9月14日～19日まで、職員1名が父島に出張し、世界遺産センターにおいて飼育繁殖方法の現地研修を受けるとともに、生体30個体を搬入した。30年3月31日現在、全個体が順調に生育している。

東京産両生類は、4園が連携して飼育下繁殖の技術向上と野外採集にできるだけ依存しない展示の維持に努めている。アズマヒキガエルについては、4園で多摩動物公園内産個体群の保全に取り組むとともに、各園内とその周辺に生息する野生個体の産卵状況等のモニタリングを継続している。

【教育普及・催物等】

専属のデザイナーにより、統一感のあるデザインと分かりやすい情報ラベル等の作成を継続し、さまざまな情報発信を行った。また、地域の民間企業や団体との連携の中でも当園のデザインを中心に展開し、園のイメージ強化を図った。

教育プログラムとしては、動物解説員のガイドツアーや教員向けセミナー、小学生対象のサマースクールなどを内容の検討を加えながら継続してきた。また、4日間連続の講座「大学生のためのズーカレッジ」を開講した。その他、日本獣医生命科学大学や東京農工大学をはじめとして、様々な学校・団体の受け入れを積極的に行った。

野生生物の保全に関する普及啓発については、平成29年10月に「ヤマネコ祭2017」を2日間開催し、生息地の対馬市や保全に取り組む様々な団体とともに、ヤマネコに関する様々な普及啓発を行った。また、国連生物多様性の10年日本委員会が取り組む「MY行動宣言」について、スタンプラリーや各種講習会などでの啓発を図ってきた。

毎年、春は生物多様性、夏は創作怪談、年末年始は干支にちなんだオリジナリティの高いスタンプラリーを開催しており、子供たちに楽しみながら動物について知ってもらえるように工夫をした。

資料館での企画展は、春夏秋冬、園内で互いに依存しながら暮らしている生き物たちのさまざまな工夫を展示した「プランタニマ：動物と植物の一年」展を29年6月から開催した。

水生物館では、外来生物問題の普及啓発のための特設展示として「私たちにできること アメリカザリガニは放さない」を29年12月から実施した。

彫刻館では、日本各地で希少となってしまった野鳥について伝えるため、谷口高司作品展「鳥たちへのおくりもの」を29年10月から開催した。また、絶滅の危機にさらされている動物たちのことを知っていただくため、Art and the Zoo Vol.4 本田公夫作品展「消えゆく隣人たちのポートレート」を29年11月から開催した。

自然観察会は園内の生物をさがす「身近ないきもの探検」、「親子で井の頭池たんけん」、園外ではあきる野市秋川での「親子で川遊び」を実施した。

講演会は、動物園で死亡した動物たちが死後どのように役立っているのかを紹介した「アジアゾウについて知る——飼育の現状とはな子からわかったこと」を実施したほか、ヤマネコ祭で、2題のヤマネコ関係の講演を行った。また、野生生物保全センター・葛西臨海水族園と連携して、「身近な水辺保全講演会」を実施した。

地域との連携では、武蔵野市や三鷹市主催の催しへのモルモットふれあいコーナーの出張を行った。また、地元吉祥寺のいくつかの商業施設との連携企画も実施し、動物園事業の普及啓発に努めた。例年実施している文化園コンサートは、29年2月に4回開催した。

さらに、年度末の30年3月28日から5日間限定でアジアゾウのはな子がいた運動場を一般開放するイベント「はな子とサクラ。」を開催した。開催にあたっては、園の半径2kmの範囲で新聞折込チラシを行い、チラシ持参者にはオリジナルステッカーをプレゼントした。また、5日間ともに東京藝術大学の学生によるミニコンサートを1日3回実施した。5日間合計のイベント参加者は、新聞やマスコミ等にも大きく取り上げられたこともあり、10,788人となり、これは期間中の入園者数の3割以上となった。

【維持管理・園内サービス】

動物園（本園）では、樹林地管理計画に基づき西側外周路沿いの高木剪定を実施すると共に

ハビタット周辺園路においては、点在する伐採跡の切株を撤去し主要動線を確保した。また、資料館1階南側出入口部階段にスロープを設置し段差を解消した。省エネルギー化の推進では、彫刻館A館管理ヤードを中心とした照明設備をLED照明に更新した。サル山及び水生物館（分園）の正面水路栈橋では、転落防止柵の補強を実施し、来園者の安全を確保した。

植栽管理では枯枝や折枝の巡回強化を継続し、集中的に危険枝の除去を行った。また、園内の植物の見どころを掲載した「花ごよみ」と「二十四節気のカレンダー」を園内とホームページで掲出したほか、植物ガイドツアーを行い、園の魅力向上に努めた。

桜花期の開園時間延長については、昨年度まで桜の開花予想に基づき直前に延長日を決定していたが、来園者への事前周知の観点から、いわゆる桜花期の土日とする方が分かりやすいと判断し、年度当初のスケジュールに組み込むこととした。

また、平成28年度に引き続き吉祥寺駅北口の大型LEDビジョンに園の紹介動画を1年間掲出するとともに、当園へのアクセスが良好な沿線の店舗でファミリー層に人気のヘアカット専門店に動画広告を掲出した。

外国人来園者への対応強化としては、29年5月からタブレット端末を利用した映像通訳サービスを新たに導入した。また、接客スタッフへの英会話研修も継続して実施した。

なお、29年度新たな取組みとして、入園門付近における季節感のあるウェルカム展示を年4回（梅雨・夏休み・クリスマス・バレンタインデー）実施し、特に閑散期の来園機運の向上に努めた。

園内売店で提供する飲食品については、新商品の導入並びに季節ごとにシーズン商品の導入を図り、来園者ニーズと利用しやすさを訴求した。また繁忙が予想された30年3月の桜花期（春休み期間）からキッチンカーの出店を実施し、来園者の利便性向上に努めた。さらにギフト商品に関しても、当園オリジナル商品の展開を拡充し利用者ニーズに応えられるよう努めた。併せて、冬季の来園者寒暖風雨対策として、園内（2号売店こもれび横）に大型テントを設置した。

Ⅱ. 事業実績

〔1〕動物飼育及び展示業務

1. 展示動物の収集・管理

(1) 動物収集業務

国内外の飼育動物の情報収集に努め、動物交換、贈与、共同繁殖のための動物貸借（BL：ブリーディングローン）等により動物の導入を積極的に行った。

【主な収集動物】

園名	種名	数量	区分	摘要
上野	ハイイロジネズミオポッサム	5	贈与	埼玉県こども動物自然公園
	マタコミツオビアルマジロ	1	贈与	アントワープZOO（ベルギー）
	アメリカバイソン	2	贈与	千葉市動物公園
	クロエリセイタカシギ	4	贈与	到津の森公園
	オニオオハシ	1	交換	高知県立のいち動物公園
多摩	コアラ	3	借受	鹿児島市平川動物公園、横浜市立金沢動物園
	タスマニアデビル	2	借受	オーストラリア・タスマニア州
	フサオネズミカンガルー	2	贈与	広島市安佐動物公園
	チンパンジー	1	交換	東武動物公園
	アナカタマイマイ	30	借受	環境省保護増殖事業
葛西	フェアリーペンギン	2	交換	仙台うみの杜水族館
	ナーサリーフィッシュ	46	採集	オーストラリア
	アークティックドラゴンフィッシュ	1	採集	南極
	ミズダコ	1	交換	小樽水族館
	オドンタステル ウァリドウス	40	採集	南極
井の頭	ユーラシアカワウソ	1	贈与	アクアマリンいなわしろカワセミ水族館
	ホンドギツネ	1	贈与	富山市ファミリーパーク
	トラツグミ	1	その他	環境局より保護引継ぎ
	ジムグリ	1	贈与	野毛山動物園
	ニホンザリガニ	1	借受	サケのふるさと千歳水族館

(2) 動物管理業務

動物台帳の管理を適正に行ったほか、国内外における稀少種血統登録への参画や、90カ国で1,000以上の動物園水族館等が加盟するSpecies360（旧称:国際種情報システム機構）の会員として、動物学情報管理システム（ZIMS）を用いて世界中の園館と動物情報を共有するなど、適切な個体群管理に取り組んでいる。

【展示動物飼育数】（平成 30年 3月31日現在）

園名	類	目	科	種	点	備考
上野	哺乳類	20	63	118	1,241	
	鳥類	20	54	134	576	
	は虫類	5	33	76	289	
	両生類	2	18	39	516	
	魚類	7	7	11	365	
	無脊椎動物	3	4	6	182	
	計	57	179	384	3,169	
多摩	哺乳類	10	30	61	653	
	鳥類	18	27	96	1,132	
	は虫類	1	4	5	17	
	両生類	2	5	6	145	
	魚類	2	2	7	13	
	無脊椎動物	24	58	127	27,134	昆虫綱ハチ目の社会性昆虫1科1種2群含む
	計	57	126	302	29,094	
葛西	哺乳類	0	0	0	0	
	鳥類	5	5	9	274	
	は虫類	1	2	3	16	
	両生類	2	6	10	298	
	魚類	26	134	502	13,664	
	無脊椎動物	76	182	493	47,418	
	計	110	329	1,017	61,670	
井の頭	哺乳類	7	17	27	490	
	鳥類	16	26	72	312	
	は虫類	2	6	9	45	
	両生類	2	8	11	588	
	魚類	8	12	40	2,412	
	無脊椎動物	7	16	18	583	
	計	42	85	177	4,430	
合計					98,363	

2. 飼育展示・調査研究

(1) 日常飼育業務

動物の健康と飼育環境管理を適正に行い繁殖に努めるとともに、創意工夫により、動物の特性を引き出すための展示改善を積極的に行った。

① 主な繁殖動物

園名	動物名	出産・孵化数				備考
		オス	メス	不明	計	
上野	アイアイ		1	1	2	
	ニシゴリラ	1			1	
	ツチブタ		1		1	
	ジャイアントパンダ		1		1	
	ルリカケス			3	3	育成数2
多摩	チーター	1	4		5	育成数4
	ユキヒョウ	1		1	2	育成数1
	キリン	2	2		4	育成数3
	モウコノウマ	2	1		3	
	ニホンイヌワシ		1		1	
葛西	ミナミイワトビペンギン			1	1	
	フェアリーペンギン			15	15	育成数10
	エトピリカ			2	2	
	ニホンアカガエル			26	26	育成数26
	グリプトノートゥスアンタルク ティクス			50	50	育成数40
井の頭	オレイオオコウモリ				1	
	フンボルトペンギン				2	育成数2
	オオコノハズク				2	
	キンクロハジロ		1		2	育成数1
	ヒドリガモ	1			2	育成数1

② 主な展示改善

園 名	主な展示改善の件名	内 容
恩賜上野動物園 合計14件	アメリカバイソンの展示 場整備と展示開始	アメリカバイソン母子2頭を導入、展示場の植栽保護柵等をリニューアルして約5年ぶりに展示を再開した。
	フォッサ展示場の改善	これまで床面には地盤の負担軽減のためハイドロボールが敷かれていたが、木登りをするフォッサの足への負担を減らすため、床面をバークチップに変更し、飼育環境及び展示景観を改善した。
	新こども動物園のオープン	新施設を活用して多様な生物を展示し、新たな教育プログラムを展開することにより、動物について体験し、感じ、考えるための場として、新たに機能させることができた。
多摩動物公園 合計24件	グレビーシマウマ、シロオリックス、ダチョウの 展示開始	施設改修に伴う展示変更にあたり、旧施設を最大限活用し、園路に面した壁面も囲いの一部に取り込む事で、ダチョウを間近に見られる等、仮設ではあるが展示効果にも配慮した。
	水鳥池の植栽改修	ガン類の踏圧と摂食により裸地となった場所に低木、下草を植栽した。陽陰、隠れ場所が作られたため、営巣行動・産卵が多く見られるようになった。※前年度12月に植栽実施し、定着後4月に鳥を戻したもの。
	オランウータン用の遊具 作製	ガスを組んだアスレチック、竹筒を加工したフィーダー、消防ホースを編んだハンモックなどを放飼場に設置、オランウータンの活動の幅を広げるとともに、お客様の行動観察時間及び満足度を向上した。
葛西臨海水族園 合計12件	特設展示「うなぎのつかみどころ」における展 示・解説の工夫	国立研究開発法人水産研究・教育機構の協力のもと、ウナギの稚魚「クロコ」を展示するとともに、ウナギの生活史や現状をわかりやすく解説した。
	特設展示「見えない海の 生き物たち」のオープン	小さい、または隠れて見えない生き物などについて、隠れ方の工夫や目立たないための工夫などを分かりやすく解説した。
	東京の海エリア「伊豆七 島の海1」水槽の改修	水流装置の改修を行うなどして、水質管理の難しいサンゴのなかま（ヤギ・ウミトサカ類）の飼育改善を行い「海中のお花畑」

園名	主な展示改善の件名	内容
		として情報誌 SEA LIFE NEWSにてPRした。
井の頭自然文化園 合計13件	水生物園におけるコウノトリの新規展示	水生物園のサギ舎で新たに展示を開始し、長いくちばしを使って器用に小魚を採食する様子を間近で観察できるようにした。
	「変わりゆく井の頭池」水槽における外来生物の展示開始	井の頭池に多く生息していたコイやミシシippアカミミガメなどの外来生物を展示し、近年井の頭池でおこなわれている「かいぼり」などの自然再生の取り組みを紹介した。
	特設展におけるニホンザリガニの新規展示	外来生物問題の普及啓発を目的としたアメリカザリガニの特設展にて、千歳水族館の協力を得てニホンザリガニを新規に展示した。アメリカザリガニとの形態的な比較や生息地における危機的な状況を紹介した。

(2) 研究成果の発表

動物園で得られた野生動物や教育普及活動に関する情報や研究成果等について、研究会等で積極的に発信した。

① 恩賜上野動物園（合計13件）

発表内容	担当	摘要
擬卵作製について～ライチョウの繁殖に向けた取り組み～	吉村 映里	横浜市立金沢動物園「ののはな館」（第9回関東東北・北海道ブロック動物園技術者研究会）
子ども動物園の新たな試み	橋川 真弓	市川市動植物園レクチャールーム（第10回関東東北・北海道ブロック動物園技術者研究会）
南西諸島産の両生類・爬虫類の域外保全	齊藤 祐輔	東京都多摩動物公園動物ホール（第11回関東東北・北海道ブロック動物園技術者研究会）
都立動物園におけるアカガシラカラスバトの保全活動	坂下 涼子	江陽グランドホテル（第20回種保存会議）
アジアゾウにおける血中ビタミンと微量元素の調査について	乙津 和歌	江陽グランドホテル（第20回種保存会議）
人工哺育のタテガミオオカミに見られた骨格異常	平野 雄三	京都ブライトンホテル（第65回動物園技術者研究会）

発表内容	担 当	摘 要
スローロリスの生態に配慮した給餌内容の見直し	木岡 真一	京都ブライトンホテル（第65回動物園技術者研究会）
オオアナコンダはメスだけで子をつくるのか	坂田 修一	どうぶつと動物園（2017秋号）
アイアイの出生性比に影響する要因	田中 陽介	日本モンキーセンター(第62回プライマーテス研究会)
サマースクール「飼育係のお仕事発見！」におけるワークショップ手法を活用した「ホンモノ」体験	高橋 直也	大阪市立自然史博物館（第58回日本動物園水族館教育研究会大阪大会）
夜間開園時間帯を利用したビバリウムの取組み	内 山 幸	シーパル須磨（第29回日本動物園水族館両生類爬虫類会議）
上野動物園におけるジャイアントパンダの自然繁殖事例	中島 麻衣	成都市Xinhua hotel（2017ジャイアントパンダ繁殖技術会議）
あかぼっぽ動物園最新情報	坂下 涼子	小笠原村父島（あかぼっぽの日の集い）

② 多摩動物公園（合計13件）

発表内容	担 当	摘 要
多摩動物公園におけるチンパンジーの餌の季節変化について	田口 陽介	横浜市立金沢動物園「ののはな館」（第9回関東東北・北海道ブロック動物園技術者研究会）
仮親技術を活用したニホンイヌワシの繁殖事例について	川鍋 政孝	市川市動植物園レクチャールーム(第10回関東東北・北海道ブロック動物園技術者研究会)
多摩動物公園内におけるアズマヒキガエルの保全活動について	古橋 保志	東京都多摩動物公園動物ホール（第11回関東東北・北海道ブロック動物園技術者研究会）
単独施設を用いたアカガシラスバト（傷病保護個体）のペア形成に向けた取組み	阿尾 佳美	東京都多摩動物公園動物ホール（第11回関東東北・北海道ブロック動物園技術者研究会）
モウコノウマの第三中手骨粉碎骨折の治療例	原 樹子	京都ブライトンホテル（第65回動物園技術者研究会）
学習のためのボルネオオランウータンの移動とその後について	清水 美香	京都ブライトンホテル（第65回動物園技術者研究会）
バレンタインとチェリアのその後について	清水 美香	旭川市旭山動物園（第6回オランウータン倶楽部）
オランウータンのジプシーさんと故郷ボルネオのはなし	清水 美香	モンベル渋谷店（特定非営利活動法人 ボルネオ保全トラスト・ジャパ

発表内容	担 当	摘 要
		ン)
ムネアカハラビロカマキリの非意図的導入事例ー中国から輸入された竹箒に付着した卵鞘ー	櫻井 博	神奈川県立博物館研究報告(自然科学) 47号
オオイクビカマキリモドキの寄主クモの初記録	田中 陽介	「昆虫(ニューシリーズ)」(日本昆虫学会和文誌) 20(3): 120-123.
チーターにおける糞中の性ホルモン測定による発情周期の確認とプロスタグランジンF2 α 代謝物を指標とした妊娠判定例	倉持 浩	ニチイ学館 神戸ポートアイランドセンター(第1回野生動物保全繁殖研究会大会)
里山の環境を活用した教育プログラムの事例紹介と今後の展望	近藤奈津子	大阪市立自然史博物館講堂(第58回日本動物園水族館教育研究会「大阪大会」)
小学生教員を対象とした採用前研修プログラムについての紹介とその有効性: こどもと昆虫をつなぐ先生へ	山崎 彩夏	広島市森林公園こんちゅう館(平成29年度全国昆虫施設連絡協議会)

③ 葛西臨海水族園(合計8件)

発表内容	担 当	摘 要
エトピリカとウミガラスの繁殖記録から推測された照度環境の異変とその影響	川上壮太郎	市川市動植物園レクチャールーム(第10回関東東北・北海道ブロック動物園技術者研究会)
魚類の外科処置における手術環境の整備事例	幅 祥太	秋田キャッスルホテル(第62回水族館技術者研究会)
コガタペンギンの人工孵化・人工育成による個体数回復の取組みと今後の課題	野島 大貴	江陽グランドホテル(第20回種保存会議)
エトピリカ連続死に関する考察と対策	吉澤 円	京都ブライトンホテル(第65回動物園技術者研究会)
葛西海浜公園「西なぎさ」における魚類出現動向について	太田 千尋	大洗パークホテル(平成29年度関東東北・北海道ブロック水族館飼育技術者研究会)
マグロ大水槽分割のための仕切り設置について	石神まゆか	大洗パークホテル(平成29年度関東東北・北海道ブロック水族館飼育技術者研究会)
葛西臨海水族園におけるニホンアカガエル <i>Rana japonica</i> の繁殖への取組み	中沢 純一	シーパル須磨(第29回日本動物園水族館両生類爬虫類会議)
生活史展示「ジェリーフィッシュライダー」ー大学での研究を展示につなげるー	村松茉由子	東京大学大気海洋研究所(平成29年度水族館シンポジウム)

④ 井の頭自然文化園（合計4件）

発表内容	担 当	摘 要
PMxを活用した個体群管理	大橋 直哉	東京都多摩動物公園動物ホール（第11回関東東北・北海道ブロック動物園技術者研究会）
JAZAコレクションプランの概要	堀 秀正	東京都多摩動物公園動物ホール（第11回関東東北・北海道ブロック動物園技術者研究会）
ガン・カモ類の繁殖について	東條 裕子	東京都多摩動物公園動物ホール（第11回関東東北・北海道ブロック動物園技術者研究会）
PMxを使ったコウノトリの個体群管理に関する検討について	大橋 直哉	江陽グランドホテル（第20回種保存会議）

（3）共同研究

大学や研究機関と協力し、動物学、獣医学等の学術的な見地から共同研究を進めた。

提 携 先	提 携 園	研究テーマ
東京大学博物館	東京動物園協会	希少動物の保全、研究及び教育
東京大学大学院農学生命科学研究科	東京動物園協会	希少動物の保全、研究及び教育
首都大学東京	東京動物園協会	希少動物の保全、研究及び教育
日本獣医生命科学大学	東京動物園協会	希少動物の保全、研究及び教育
東京農工大学	東京動物園協会	希少動物の保全、研究及び教育
国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所	東京動物園協会	イモリの保全及びその生態学的研究
国立科学博物館	東京動物園協会	動物等の研究
大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立極地研究所	東京動物園協会	連携・協力に関する協定
東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究	東京動物園協会	海洋教育促進

センター		
岐阜大学応用生物科学部	東京動物園協会	動物園水族館動物に係る研究及び教育
東京大学大学院農学生命科学研究科	恩賜上野動物園	希少動物の獣医衛生に関する研究（獣医病理学）
日本獣医生命科学大学動物生産化学教室	恩賜上野動物園	ライチョウの域外飼養技術の開発に関する研究－飼育飼料の検討－
日本獣医生命科学大学動物生産化学教室	恩賜上野動物園	アカガシラカラスバトの域外飼養技術に関する研究－飼育飼料の検討－
日本獣医生命科学大学動物生産化学教室	恩賜上野動物園	飼育飼料成分のデータベース化による動物園動物栄養管理システムの構築に関する共同研究
日本蛇族学術研究所	恩賜上野動物園	ヘビ類の飼育管理向上を目的とした粉末式人工飼料に関する共同研究
京都大学霊長類研究所	恩賜上野動物園	ジェントルキツネザル腸内細菌叢の遺伝解析に関する共同研究
京都大学霊長類研究所	恩賜上野動物園	ジェントルキツネザルのタケ食適応と味覚受容体の進化に関する共同研究
京都大学霊長類研究所	恩賜上野動物園	ハリモグラの化学感覚受容体遺伝子の解析に関する共同研究
日本獣医生命科学大学獣医臨床繁殖学教室	恩賜上野動物園	ジャイアントパンダをはじめとする希少野生動物の精液凍結技術の開発
帝京科学大学	恩賜上野動物園	教育プログラム改善を目的とした利用者調査に関する共同研究
岐阜大学応用生物科学部	恩賜上野動物園	希少動物の保全繁殖
岐阜大学応用生物科学部	多摩動物公園	希少動物の繁殖生理の内分泌モニタリング/ 多摩動物公園における希少動物の性ホルモン分析技術の推進
東京都健康安全研究センター	多摩動物公園	サル類の腸管寄生原虫に関する研究（検査・駆除対策）
日本工業大学	多摩動物公園	モグラの地中掘削行動の機構学的解析
麻布獣医学園	多摩動物公園	ネコ科の瞳の形状に関する遺伝子解析
横浜市環境創造局繁殖センター	多摩動物公園	希少動物の保全に関わる試験研究

京都大学野生動物研究センター	多摩動物公園	オランウータンの子の離乳過程と母親のホルモン動態の関係
日本大学生物資源科学部	葛西臨海水族園	水生生物における包括的魚病診断調査及び防疫法の確立
大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立極地研究所	葛西臨海水族園	南極海に生息する魚類の繁殖および摂餌生態に関する共同研究
東北大学大学院生命科学研究所器官形成分野	葛西臨海水族園	フンボルトペンギン胚における特徴的四肢形態の発生操作
電力中央研究所株式会社イワキ	葛西臨海水族園	大規模水槽向け脱窒装置及び小型水槽用脱窒モジュールに関する共同研究
東京大学大気海洋研究所	葛西臨海水族園	ウミスズメ科の水中採食生態の解明に関する共同研究
東京海洋大学	葛西臨海水族園	深海生物共同研究
株式会社海遊館	葛西臨海水族園	ペンギン類人工繁殖に関する共同研究
国立大学法人東京大学	葛西臨海水族園	映像によるクロマグロの行動解析技術の研究開発に関する共同研究
日本大学生物資源科学部海洋生物資源科学科水圏生物病理学研究室	葛西臨海水族園	葛西臨海水族園の飼育する水生生物疾病研究に関する協定
国立大学法人東京大学	葛西臨海水族園	マハゼのヘネガヤ症研究に関する協定
岐阜大学	井の頭自然文化園	アムールヤマネコの繁殖生理に関する共同研究
日本獣医生命科学大学獣医学科比較動物医学教室	井の頭自然文化園	井の頭自然文化園におけるニホンアナグマの飼育技術の開発に伴うアナグマの環境エンリッチメントに関する共同研究
日本獣医生命科学大学獣医臨床繁殖学教室	井の頭自然文化園	希少野生ネコ科動物における人工繁殖技術の研究
ヤマザキ動物看護大学	井の頭自然文化園	動物園におけるカワウソの行動解析と来園者の興味に関する研究

(4) 飼育展示・教育普及研究会の開催

園内及び4園相互での情報交換と共有化を積極的に進めるとともに、研究発表等に積極的に参加することによる職員の能力向上を図るため、各園で飼育展示・教育普及担当者による研究会を毎月開催した。

3. 動物病院業務

飼育職員と連携して病気等の予防策を講じるとともに、異常の早期発見に努め、適切な治療を行った。また、検疫業務、病理解剖、検体の保存等を行った。

(診療件数及び検疫件数)

園 別	年間診療件数		年間検疫件数	
	治療	死亡	種数	頭数
恩賜上野動物園	6,949	102	62	565
多摩動物公園	7,256	95	28	60
葛西臨海水族園	1,098	33	1	3
井の頭自然文化園	4,053	56	28	56

※葛西については、上野の動物病院においても実施。

4. 施設維持管理・園内サービス

(1) 園内施設・設備の維持管理

① 定常的維持管理

施設や設備を適切に保守し、利用者の安全と快適性を確保するために、以下の園内施設の維持管理業務を実施するとともに、照明設備のLED化及び空調・ポンプ類のインバーター化による電力使用量削減に取り組んでいる。

園名	主要施設	主要維持管理業務
恩賜上野動物園	<ul style="list-style-type: none"> 敷地面積：144千㎡ パンダ舎、ホッキョクグマとアザラシの海、クマ舎、ゾウ舎、アイアイのすむ森等 両生爬虫類館 管理センター 不忍池 	<ul style="list-style-type: none"> 設備更新（水処理、ボイラー、空調、暖房 他） 補修工事（動物舎、漏水、排水、園内不陸 他） 設備保守（機械、水処理、放送、動物脱出防止柵 他） 不忍池水質管理 設備点検 保護管理（植込地、花壇） 危険樹点検対応 他
多摩動物公園	<ul style="list-style-type: none"> 敷地面積：601千㎡（含む七生公園） オランウータン舎、コアラ館等 ライオン園 他 昆虫生態園 丘陵地 	<ul style="list-style-type: none"> 設備更新（水処理、ボイラー、空調、暖房 他） 補修工事（動物舎、漏水、排水、園内不陸 他） 設備保守（機械、水処理、放送、動物脱出防止柵 他） 設備点検 保護管理（植込地、芝生地、花壇） 危険樹点検対応 他
葛西臨海水族園	<ul style="list-style-type: none"> 敷地面積：86千㎡ 水槽数：47 マグロ水槽（2,200t）、ペンギン池 他 ポンプ（水処理用244台、給排水用53台） 	<ul style="list-style-type: none"> 設備補修（冷凍機、水処理 他） 施設補修（水槽、漏水、排水、園内不陸 他） 設備保守（中央監視、水処理、展示システム、排水処理、オゾン設備 他） 設備点検 保護管理（植込地、芝生地、花壇） 危険樹点検対応 他
井の頭自然文化園	<ul style="list-style-type: none"> 敷地面積：116千㎡ 大放飼場 彫刻館 リスの小径 資料館 水生物館 	<ul style="list-style-type: none"> 設備更新（水処理、ボイラー、空調、暖房 他） 補修工事（動物舎、漏水、排水、園内不陸 他） 設備保守（機械、水処理、放送 他） 設備点検 保護管理（植込地、花壇） 危険樹点検対応 他

② 集中的維持管理

設備補修や地球温暖化対策などを行うとともに、動物舎等について、集中的な修繕を行った。

園名	No.	修繕施設	概要
上野	1	空調設備	両生爬虫類館F3系チラーユニット補修
	2	照明設備	東園中央広場園路灯補修
	3	園路	東園園路舗装補修
	4	動物舎	キリン舎金網嵩上げ補修
多摩	1	照明設備	園内灯具補修
	2	衛生設備	ノウサギ舎脇トイレ補修
	3	園路	カンガルー広場前園路補修
	4	動物舎	ヒマラヤタール放飼場補修
葛西	1	熱交換器設備	本館極洋熱交換器補修
	2	構内通信設備	構内PHSアンテナ補修
	3	照明器具	水槽照明設備補修
井の頭	1	建物補修	彫刻館A館外壁タイル補修
	2	園路	本園サル山周辺園路補修
	3	排水設備	フェネック舎脇排水補修

(2) 園内の保安及び環境美化

① 園内巡回警備

巡回警備による整理・誘導、防犯等、入園者の安全に配慮して実施した。繁忙期には増員により対応した。

② 園内清掃及び廃棄物搬出

園内美化を図り、園内の清掃及び収集したゴミ等の廃棄物を園外へ搬出した。また、搬出した寝糞等は専門施設においてリサイクルし、肥料化した。

(3) 入園券の売改札及び利用案内・園内サービス

① 入園券の売改札

入園券の売改札、年間パスポートの販売を行った。

【入園者数】

(単位：人)

区 分		上野	多摩	葛西	井の頭	合計	摘 要		
有 料	個 人	一 般	2,266,714	393,052	569,857	392,854	3,622,477		
		中学生	67,747	1,991	11,306	739	81,783		
		65歳以上	199,834	37,268	43,515	49,650	330,267		
		計	2,534,295	432,311	624,678	443,243	4,034,527		
	団 体	一 般	157,775	52,248	69,622	17,990	297,635	20人以上	
		中学生	1,683	51	586	210	2,530	〃	
		65歳以上	6,297	666	6,736	1,193	14,892	〃	
		計	165,755	52,965	76,944	19,393	315,057		
	小 計		2,700,050	485,276	701,622	462,636	4,349,584		
	無 料	個 人	小学生以下	1,306,533	277,276	553,055	263,894	2,400,758	
			中学生	23,884	5,501	25,939	6,328	61,652	都内在住在学
			計	1,330,417	282,777	578,994	270,222	2,462,410	
団 体		幼 児	78,682	55,198	37,173	22,965	194,018		
		小学生	70,190	55,785	50,119	17,711	193,805		
		中学生	67,453	2,694	9,230	456	79,833		
		計	216,325	113,677	96,522	41,132	467,656		
特 免		119,396	29,872	41,428	33,838	224,534	身体障がい者等		
その他		134,226	66,129	66,158	56,545	323,058	無料開園日等		
小 計		1,800,364	492,455	783,102	401,737	3,477,658			
合 計		4,500,414	977,731	1,484,724	864,373	7,827,242			

【年間パスポート販売状況】

園 名	販売実績	摘 要
恩賜上野動物園	40,966枚	一般2,400円、65歳以上1,200円
多摩動物公園	7,079枚	〃
葛西臨海水族園	3,215枚	一般2,800円、65歳以上1,400円
井の頭自然文化園	12,842枚	一般1,600円、65歳以上 800円
合 計	64,102枚	

② 有料施設等の占用等の申請受付と料金徴収

園内での写真撮影や集会所の使用申請の受付事務と入園料、使用料、占用料の徴収及び東京都への納付事務を行った。

【入園料金の徴収】

園名	収 納 額	摘 要
恩賜上野動物園	1,461,966,720円	大人600円、中学生200円、65歳以上300円
多摩動物公園	250,885,160円	〃
葛西臨海水族園	450,132,420円	大人700円、中学生250円、65歳以上350円
井の頭自然文化園	148,850,130円	大人400円、中学生150円、65歳以上200円
合 計	2,311,834,430円	

【占用料・使用料の徴収】

園名	収 納 額	摘 要
恩賜上野動物園	325,479円	占用料（写真撮影等）
多摩動物公園	118,100円	〃
葛西臨海水族園	131,348円	〃
井の頭自然文化園	405,270円	占用料・使用料（資料館・童心居）
合 計	980,197円	

③ 利用案内・園内サービス

園内における利用者案内、迷子相談、園内放送、救急救護、身障者用車椅子の貸出等のサービスや拾得物・遺失物対応を実施したほか、園外からの電話による問い合わせに対応、園内案内図、案内板の更新を行った。また、GWや春休みの繁忙対策として、上野動物園、多摩動物公園で仮設トイレを設置した。

東京動物園ボランティアーズのサービスガイドグループとの協働により、園内案内サービスや園内催物を実施した。

【園内利用案内】

(単位：件)

園名	迷子	放送	救護	車椅子	遺失物届	拾得物届
上野	806	4,964	657	1,572	703	4,497
多摩	75	3,434	378	348	610	5,397
葛西	229	2,007	227	548	563	2,973
井の頭	145	385	295	116	392	2,216
合計	1,255	10,790	1,557	2,584	2,268	15,083

(4) 利用促進・PR活動

ウェブサイトや各種印刷物・広告媒体等により、利用促進活動を行った。また、都立動物園・水族園の魅力とサービス向上を目的とするVisit Zoo事業推進のため、東京都と協力しながら、各種イベント、開園時間の延長、開園日数の拡大など、様々な取組みを行った。

【利用促進・PR】

事 項	摘 要
ウェブサイト	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェブサイト「東京ズーネット」を通じて、動物の最新ニュースや動画、イベント情報等を多くの人に向けて発信した。 ・「保全への取組」ページに、葛西臨海水族園によるトビハゼ保全の取組みを紹介する「東京湾のトビハゼのいま」を追加した。 ・「東京動物園友の会」ページを改修し、雑誌「どうぶつと動物園」平成17年春号からのバックナンバーの掲載内容を公開した。 ・総合トップ及び上野動物園トップに、ジャイアントパンダ母仔の公開情報や観覧方法等を発信するための告知欄を追加した。 ・上野動物園に「子ども動物園すてっぷ」ページを新規作成した。 ・葛西臨海水族園に「葛西臨海水族園ガイドアプリ」ページを新規作成した。 ・夏季限定の特設サイト「ようこそ、東京の夏へ Visit Zoo」を公開し、各園の夜間開園情報や豊富なイベント情報をまとめて紹介した。 ・冬の動物園・水族園の魅力を集めた特設サイト「VisitほっとZoo 2018」を12月下旬から公開し、各園の見どころや特別イベント、「電車であわろう！動物園&水族園スタンプラリー」についてアピールした。 ・上野動物園のジャイアントパンダ情報サイト「UENO-PANDA.JP」では、パンダに関する情報を掲載したほか、ジャイアントパンダ保護サポート基金についても広くアピールした。 ・「UENO-PANDA.JP」の「パンダプロフィール」ページに、「シャンシャン」の誕生から公開までの情報を追加した。 ・Twitterによる4園の情報発信を通じて、即時性のある情報をタイムリーに配信した。
広告物	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の夜間開園、秋のインスタグラムでのフォトコンテスト「ザ★フォトZooニック」、「VisitほっとZoo2018」等のイベント周知、集客に向けて、電車内広告（中吊り・窓上等）、駅構内デジタルサイネージ広告、飼育係職員のラジオ番組出演による告知（TOKYO-FM）、劇場広告（東京ドームシティシアターGロッソ）等を適宜、実施した。 ・インバウンド対策として、LCC航空会社のホームページ広告掲出、羽田空港、成田空港での電飾広告掲出を実施した。 ・4園の認知向上をはかるため、都バスに野生動物のラッピングを施し

事 項	摘 要
	<p>た4台のラッピングバスを運行した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上野動物園では、ジャイアントパンダの仔の命名募集やジャイアントパンダ親仔の観覧方法の告知のため、ポスター・チラシを各種鉄道や関連施設の協力のもと配布・掲出した。 ・多摩動物公園では、サマーナイト@Tama Zooや干支展のポスター・電車内中吊り広告や、アフリカフェア実施に合わせてアニメ・鉄道とコラボレーションしたPRチラシ・ポスターの制作、掲出等を実施した。 ・葛西臨海水族園では、春の繁忙期に向けて沿線駅においてポスター広告の掲出等を実施した。 ・井の頭自然文化園では、最寄り駅前の大型ビジョンでの広告や、近隣駅付近のヘアカット専門店でサイネージ広告等を実施した。
ダイレクトメール	<p>幼稚園・保育園、学校、福祉施設、ホテル等 (2園5,437件)</p>
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・繁忙期における休園日の臨時開園（上野10日、多摩6日、葛西6日、井の頭4日）、開園時間延長（上野18日、多摩16日、葛西12日、井の頭9日）を実施した。 ・Visit Zoo事業に関する4園合同のキャンペーンとして、井の頭恩賜公園100周年イベントへのブース出展、夏の夜間開園、Visit Zoo×散歩の達人「ザ★フォトZOOニック!」、冬には4園の冬の魅力を伝える企画「VisitほっとZoo2018」を開催した。また、「VisitほっとZoo2018」では、民間事業者と連携して、「電車であわろう!動物園・水族園スタンプラリー」を開催した。 ・訪日来園者の動向を把握するため、Wi-Fi電波観測による来園者国別推計調査を実施した。また、上野動物園表門入口付近（上野公園）で訪日外国人へのヒアリング調査を行った。 ・マーケティング計画作成のため、多摩動物公園に関する認知度やイメージ、来園意向等についてのアンケート調査、およびこの調査結果に基づきいくつかの属性に分けたサンプルに対して、実際に来園した印象を踏まえてのグループインタビュー調査を行った。 ・外国人観光客向けに、都立動物園・水族園紹介パンフレット（英語・中国語〔繁体・簡体〕・韓国語及び日本語）を東京都観光案内所等で配布した。

(5) 広報広聴

園内動物の繁殖や催物等についての広報発表、取材対応のほか苦情や意見への対応を行った。

① 主な広報発表

園名	発表日	件名
上野	6月12日	恩賜上野動物園のジャイアントパンダ「シンシン」出産のお知らせ
	6月20日	7月11日ついに公開！子ども動物園 すてっぷ Children's Zoo STEP～新しい「学び」の機能が充実！～
	10月10日	ニシゴリラのモモコが出産しました！
	11月22日	恩賜上野動物園の園内を禁煙にします
	11月22日	ジャイアントパンダ母仔の公開について
	その他、合計80件	
多摩	5月11日	タスマニアデビル来園1周年記念講演会「タスマニアデビルの今を知る-その生態と保全の最新情報&多摩動物公園での飼育」開催！
	7月13日	サマーナイト@Tama Zoo 2017 ―デビルもめざめる夜の動物園―
	10月18日	「第3回都立動物園アフリカフェア」開催！～野生動物のふるさとアフリカの今とこれから～
	11月9日	オガサワラシジミの周年飼育に新たに成功しました 平成28～29年 第7世代まで誕生
	1月25日	ゴールドエンターキンが誕生しました
	その他、合計35件	
葛西	5月11日	親子向け観察会「トビハゼの調査地をたずねる」参加者募集
	7月13日	夏の特別イベント「Night of Wonder ～夜の不思議の水族園～」
	8月24日	葛西臨海水族園ボランティアを募集します！～東京シーライフボランティアーズ(T.S.V.)の仲間になりませんか？～
	9月14日	開園記念日イベント「All About MAGURO」
	2月6日	葛西臨海水族園で大規模な救助救急訓練を実施<首都直下型地震が発生し傷者が多数発生を想定>
	その他、合計19件	
井の頭	5月11日	講演会「アジアゾウについて知る～飼育の現状とはな子からわかったこと」を開催します
	6月8日	「文化園いきものクラブ」参加者募集！
	6月20日	夏の井の頭自然文化園・怪談スタンプラリー「動物園怪談画劇～井の頭百物語・伍～」開催
	9月14日	「ヤマネコ祭2017」を開催します！
	12月21日	ニホンコウノトリが多摩動物公園から来園します
	その他、合計20件	

② 苦情・意見への対応

園内に設置した意見箱やホームページ「東京ズーネット」に寄せられた苦情・意見について、関係部署へ周知するとともに対応策を検討し、園内環境やサービス等の改善に努めた。また、来園者からのご意見ご要望への対応を4園で統一し、サービスの改善・充実を図るため、データベースの構築を行った。

〔2〕野生生物保全業務

「野生生物保全センター」を都立動物園・水族園の野生生物保全活動の中心に位置付け、保全活動、情報収集、調査研究及び普及啓発活動を実施した。

項 目	内 容
動物園内における保全活動 (域外保全)	<ul style="list-style-type: none"> ① ニホンコウノトリ、トキについては、多摩動物公園を中心に高度な飼育繁殖技術を活かし、野生復帰事業に貢献している。 ② アカガシラカラスバトは、毎年順調に繁殖しており、緊急保護個体を繁殖個体群に取り込むなど、飼育繁殖技術も発展し、飼育下個体群形成が順調に進んでいる。 ③ オガサワラシジミは、多摩動物公園で累代繁殖および周年飼育に成功し、持続的な繁殖が期待できるような状況になってきた。 ④ ライチョウは、上野動物園で昨年孵化育成した個体が、今年繁殖に成功し、4羽を育成した。 ⑤ ニホンイヌワシ、東京産両生類等、希少種の繁殖に継続して成功している。 ⑥ 環境省からの分散飼育の協力要請を受け、小笠原諸島の陸産貝類(カタマイマイ、アナカタマイマイ)の飼育を4園で開始した。アナカタマイマイについては繁殖に成功した。
フィールドにおける保全活動 (域内保全)	<ul style="list-style-type: none"> ① 多摩市のアカハライモリ生息地において、生息状況調査や生態調査を継続して実施し、生息個体数を増加させることに成功するとともに、地域との連携・環境教育活動を推進している。 ② アカガシラカラスバト野生個体群の遺伝的多様性を解明するため、小笠原自然文化研究所と連携し、ミトコンドリアDNAの解析を実施している。 ③ 多摩動物公園内に生息するアズマヒキガエルの繁殖状況を調査し、産卵池の環境整備を行った。
生物学技術を応用した保全活動	<ul style="list-style-type: none"> ① DNA解析により、性判別(鳥類・哺乳類)を日常的に行うほか、クロツラヘラサギ等で親子判定を実施するなど、繁殖計画の推進に寄与した。また、飼育希少鳥類の遺伝的多様性の解析、メダカやゲンジボタル地域個体群解析、アズマヒキガエルの野外での亜種間交雑状況の調査を継続して行っている。 ② 人工授精技術を用いて、自然交配が期待できないソデグロヅルのペアから継続して有精卵を得ることに成功し、孵化成育に至った。 ③ 性ホルモンを測定し、ツシマヤマネコやチーター、イワトビペンギン等の繁殖生理解明に役立っている。
調査研究・情報収集	<p>ドイツで行われたCPSG(国際自然保護連合保全計画専門家グループ)年次総会に職員を派遣し、情報収集を図った。</p>
普及啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> ① イモリの保全活動を進めている多摩市の小学校と連携し校外学習の

	<p>一環として、保全活動について普及啓発を行っている。</p> <p>② 一般参加の観察会として、保全に取り組む生物の「トビハゼ観察会」、「アカハライモリの保全現場をたずねる」を実施した。</p> <p>③ 多摩動物公園で小笠原保全講演会「小さなチョウをはぐくむ大いなる自然」～小笠原の森林生態系～を実施した。また、父島に職員を派遣して「あかぼっぽ生息域外保全10年の成果」について報告した。</p> <p>④ 環境省の設定したトキ野生復帰2020年目標ロードマップ「トキ野生復帰の普及啓発」の一環として毎年おこなっている「トキと共生する佐渡」と連携し、「2018トキ野生復帰セミナー」を多摩動物公園で実施した。</p> <p>⑤ ツシマヤマネコの保全に関する普及啓発として井の頭自然文化園で「ヤマネコまつり」を継続して実施している。</p> <p>⑥ 学生向けに「鳥を守る」と題した保全セミナーを上野動物園で実施した。</p>
<p>保全への協力</p>	<p>コウノトリの個体群管理に関する機関・施設間パネル（IPPM-OWS；任意団体）の構成員として、他の加盟機関と連携し、保全活動を推進した。兵庫県立コウノトリの郷公園に放鳥用の有精卵を提供した。千葉県野田市でのコウノトリの放鳥に協力している。加盟園等のコウノトリ飼育担当者を対象とした捕獲技術研修を多摩動物公園で実施した。</p>

〔3〕教育普及業務

動物園・水族園における観察や学習などの体験を充実させるために各種プログラムを企画・開催し、生物や環境等の情報を伝えるとともに、教育機関との連携やボランティア団体との協働等を通じて普及活動を推進した。

1. 4園連携による幅広い教育普及活動の展開

平成28年度に引き続き「ドリームナイト・アット・ザ・ズー&アクアリウム in Tokyo」を多摩・葛西・井の頭で実施した。上野では、希望者全員を安全に受け入れるため、「ドリームデイ・アット・ザ・ズー in Tokyo」として休園日である8月28日の日中に開催した。「大人のための動物園・水族園講座」を4園で開催した。また、野生生物保全センターが中心となって見学会「アカハライモリの保全現場をたずねる」を実施するなど、野生生物保全や生物多様性の重要性を普及するため、様々な企画に4園が連携して取り組んだ。

①連携企画

内 容
<ul style="list-style-type: none">障がいをもつ子供とその家族を閉園後に招待する「ドリームナイト・アット・ザ・ズー & アクアリウム in Tokyo」を3園で実施（6/3多摩、9/23葛西・井の頭）。上野では、平成28年度と同様に「ドリームデイ・アット・ザ・ズー in Tokyo」として休園日である8/28の日中に開催した。葛西臨海水族園・井の頭自然文化園合同の体験プログラム「親子ではじめる川遊び」を実施（7/1,2葛西、7/29秋川にて実施）。小学校教員対象「授業に活かせる『動物園・水族園』講座」を4園で実施（7～8月）、葛西では2月に冬の小学校教員対象セミナーを実施した。東京教師養成塾を4園で受入れ（7～8月）「第3回都立動物園アフリカフェア」イベントとして、「京王の電車に乗って動物たちに会いに行こう！ 多摩&井の頭Zoo×けものフレンズ すたんぷらりー」を多摩と井の頭で実施（9/21～10/22）4園共同企画 親子向け観察会「アカハライモリの保全現場をたずねる」を東京都多摩市にて実施（10/15）16歳以上を対象とした「大人のための動物園・水族園講座」を4園で開催（11～12月）小笠原保全講演会「小さなチョウをはぐくむ大いなる自然——小笠原の森林生態系」を多摩動物公園にて実施（12/9）連続講演会「身近な水辺の生き物を守る」を実施（3/4井の頭、3/18葛西にて実施）

②Visit Zoo事業における4園連携事業

実施項目	内 容	
井の頭恩賜公園100祭ブース出展 5/2、5/4、5/7	井の頭自然文化園に近接する井の頭恩賜公園の開園100周年イベントにおいて、4園の来園促進に向けた宣伝ブースを出展した。各園パンフレット、広告ポスターの他、顔出しパネル等を設置し、4園の情報を幅広く提供した。	
夏季開園時間延長イベントに伴う集客 8/1～31	各園での開園時間延長イベントを中心とする集客施策を4園合同で周知した。ホームページでの特設ページの開設、劇場での上演前動画広告、電車内窓上広告やポスター掲出等を展開した。	
Instagramによるフォトコンテスト 10/17～11/21	写真投稿SNS「Instagram」上において、園内で撮影した写真を投稿し、その写真をホームページ上に集約、公開するキャンペーン「ザ★フォトZOOニック」を開催した。優秀作品は期間終了にタイアップした雑誌の誌面上に掲載した。	
VisitほっとZoo 2018 1/6～3/4	上野	電車でまわろう！動物園・水族園スタンプラリー（1/6～3/4）、ビバリウムキーパーズトーク（1/6～3/4の間の平日）、大道芸 de ほっとZoo!!（2/11、2/12）、ほっとZooガイドツアー（1/25、31、2/6、2/16）、ほっとZooサンデークイズ（1/14）
	多摩	電車でまわろう！動物園・水族園スタンプラリー（1/6～3/4）、VisitほっとZoo スペシャルウォッチング（1/6、13、20、27、2/3、10、17、24）、どうぶつえん寄席（1/14）、ガンカモの映画上映会（1/15）、工作教室（1/7、28、2/4、18、25）、子ども向けワークショップ「オランウータン博士と一緒にかんさつ！」（2/11）、サイエンズカフェ（2/18、25）
	葛西	電車でまわろう！動物園・水族園スタンプラリー（1/6～3/4）、「Deep of Wonder——不思議な深海の生き物たち」深海スタッフトーク（1/13）、「Deep of Wonder——不思議な深海の生き物たち」深海クイズラリー（1/15～3/4の平日）、「Deep of Wonder——不思議な深海の生き物たち」深海トークショー（1/21）、「Deep of Wonder——不思議な深海の生き物たち」深海ラボ×JAMSTEC（1/27、28）、おとなガイドツアー（1/7、10、27、2/8、17、27）、大道芸 de ほっとZoo!!（1/21、2/24）
	井の頭	電車でまわろう！動物園・水族園スタンプラリー（1/6～3/4）、動物解説員のガイドツアー（期間中の第1・3・5土曜と第2・4・5日曜）、Art and the Zoo Vol.4 本田公夫作品展「消えゆく隣人たちのポートレート」（12/15～5/6）、本田公夫講演会「私と動物画と動物園」（2/12）、けものフレンズ あんこーる！（1/25～3/4）、おはなし会（1/6、2/3、3/3）、ヤマネコガイド（1/13、14、21、27、2/10、11、18、24）、ミズ

実施項目	内 容
	グモガイド(1/13,14,21,27,2/10,11,18,24)、ヤマドリガイド(1/13,14,21,27,2/10)、まっかちゃんに挑戦!(1/13,27,2/10,24)、文化園干支めぐりスタンプラリー 井之頭犬犬図屏風(12/16~1/8)、ボトルウォッチング(1/14,21,2/10,18)、初笑い・わんにゃん寄席(1/20)、飼育係のいきものガイド(1/7,14,21,27,28)、大道芸 de ほっと Zoo!!(1/27)、お手玉をつくって遊ぼう!(1/28)、ペーパークラフト教室(1/4,7,2/11)、紙芝居と手品(1/13,27,2/10)、いきもの広場で遊ぼう!(1/14,2/11)、折り紙でお雛様をつくろう!(2/12)、みんなで遊ぼう「魚釣りごっこ」(2/16)、文化園コンサート「February Concert at the Zoo」(2/11,18,25)、夜の文化園コンサート「February Concert at the Zoo_ Special Jazz Night」(2/17)

2. 園内プログラム

(1) 動物解説業務(園内ガイドツアー・団体指導ほか)

各園に配置した動物解説員により、一般来園者を対象とした園内ガイドツアー及び小学生等の団体を対象とした動物解説のほか、夏休み期間その他に特別企画等を実施した。

項 目	実 施 内 容	
1. 一般来園者へのガイド	内 容	テーマを設定し、園内を案内しながら動物の解説を行った。 (1回約45分間)
	実施回数	上野226回、多摩220回、葛西502回、井の頭110回、 4園合計1,058回
	参加者数	上野4,571名、多摩3,918名、葛西5,483名、井の頭1,432名、 4園合計15,404名
2. 団体指導	内 容	団体の要望等を事前に調整の上、プログラムを実施した。 特に学校団体については、学校教育と動物園との連携を図り、教育活動の一環として役立つプログラムを実施した。
	実施回数	上野319回、多摩200回、葛西474回、井の頭115回、 4園合計1,108回
	参加者数	上野26,046名、多摩12,326名、葛西26,267名、井の頭7,125名、 4園合計71,764名
3. 団体引率者への事前指導	内 容	遠足や理科・生活科等の見学で実地踏査に来る教員や引率者を対象として、動物園における教育プログラムを提示・説明した。
	実施回数	上野1,016回、多摩926回、葛西320回、井の頭111回

項目	実施内容	
		4園合計2,373回（実地踏査、電話、その他対応）
4. 特別企画	内容	春夏休み期間を中心に、子供や親子連れを対象にクイズラリーやオリジナル観察シートを活用したセルフガイド、生物研究等の特別企画を行った。
	実施回数	上野 みんなでつくるおもしろ図鑑4回、サンデークイズ6回 多摩 たまZOOくらぶ8回、「虫が苦手！」そんな先生のための昆虫教室1回 葛西 大人限定ガイドツアー33回 井の頭 文化園いきものクラブ8回
5. 大人のための動物園・水族園講座（4園合同企画）	内容	16歳以上対象の事前申込みによる半日講座と1日講座を設定し、観察の仕方や動物園水族園の役割を紹介した。
	実施時期	上野11月、多摩11月、葛西12月、井の頭12月
6. その他	各園の教育普及関係スタッフが連携し、観察会など各種普及活動における指導・企画展示用テキスト作成等を行った。	

（2）動物相談室の運営

上野動物園、多摩動物公園内の動物相談所において、来園者及び電話・書簡による相談に応じた。

園名	来園	電話	書簡	計	摘要（重複あり）
恩賜上野動物園	2,029	3,918	22	5,969件	飼育1,647 動物園1,330 生態2,161 保護305 鳥獣害361 その他4,231
多摩動物公園	843	658	28	1,529件	飼育278 動物園186 生態356 保護66 鳥獣害47 その他596
計	2,872	4,576	50	7,498件	

（3）通年プログラム

園名	内容
恩賜上野動物園	<ul style="list-style-type: none"> ・キーパーズトーク（ビバリウムほか1,198件） ・ウサギ・モルモットとのふれあい（子ども動物園で毎日実施、12月1日以降リニューアルのため休止） ・スタディシート（セルフガイド用ブックレット）1種配布
多摩動物公園	<ul style="list-style-type: none"> ・キーパーズトーク（チンパンジーほか948件）

園名	内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・モルモットとのふれあい（毎日実施） ・スタディシート（かんさつシート）16種配布
葛西臨海水族園	<ul style="list-style-type: none"> ・キーパーズトーク（マグロ、ペンギンほか1,068件） ・サメ・エイとのふれあい（タッチンフィーリンで毎日実施） ・スタディシート（魚ッチングシート）約20種配布
井の頭自然文化園	<ul style="list-style-type: none"> ・キーパーズトーク（アライグマほか520件） ・モルモットとのふれあい（毎日実施） ・ダックさんにお弁当（7・8月を除き月2回実施） ・スタディシート（ワークシート用資料集）1種配布

(4) 企画プログラム

園名	内容
恩賜上野動物園	<ul style="list-style-type: none"> ・HANAMI AT UENOZOO（3/25～4/2） ・飼育の日イベント：注文の多い動物園—猫熊軒（4/15,16） ・国際博物館の日記念「上野の山で、自分でキジめぐり」（4/25～6/11） ・上野ミュージアムウィーク特別ガイドツアー（5/10,16） ・上野の山でキジめぐり（5/14） ・世界バクの日（4/27） ・野間馬関連イベント クイズラリー・物産コーナー（5/13,14） ・世界カワウソの日（5/31） ・いい歯いきいき上野動物園行事（6/4） ・第1回サポーターズデイ（6/18） ・動物愛護に関する標語募集（7/1～30） ・打ち水日和～江戸の知恵・東京のおもてなし～（7/20） ・TZV特別企画「東京にもクマはいる。クマに出会わないために」（7/22） ・ジャイアントパンダの赤ちゃん名前募集！（7/28～8/10） ・世界トラの日特別企画（7/29） ・エキュート上野店連携イベント「パンダペーパーでオリジナル名刺をつくろう！」（8/5） ・真夏の夜の動物園（夜間開園：8/9～16） ・ドリームデイ・アット・ザ・ズー（8/28） ・Museum Start あいうえの「うえの！ふしぎ発見：アート&アニマル部」（9/3） ・動物愛護に関する標語入選作品掲示（9/20～11/15） ・動物慰霊祭（9/23）

園 名	内 容
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ジャイアントパンダ「名前おひろめ会」(10/8) ・ 国際テナガザルの日 (10/15～29) ・ Visit Zoo×散歩の達人 ザ★フォトZOOニック！(10/17～11/21) ・ 折り紙でつくろう！1800パンダ (10/20～29) ・ 寛永寺僧侶と歩く上野公園めぐり (10/23,11/11) ・ パンダフルウィーク スペシャルスポットガイド (10/25,28) ・ 世界キツネザルの日 (10/27) ・ 文化財ウィークイベント (10/28～11/5) ・ ニシゴリラの赤ちゃんの名前を募集します！(11/17～26) ・ 国際子ども図書館イベント (11/19) ・ SPOT GUIDE FESTA 2017 (11/23) ・ アニマルニットをかぶって写真を撮ろう！@上野動物園 (11/26) ・ ジャイアントパンダ「シャンシャン」公開を祝う会 (12/18) ・ 新年イベント (1/2,3) ・ 年間パスポートキャンペーン (1/2～31) ・ Visit ほっと Zoo 2017 (1/6～3/4) ・ 電車でまわろう！動物園&水族園スタンプラリー (1/6～3/4) ・ エキュート上野店連携イベント「パンダペーパーでオリジナルカードをつくろう！」(1/13) ・ ほっとZooサンデークイズ「毛のいろいろ」(1/14,2/25) ・ ほっとZooガイドツアー (1/25,31,2/6,16) ・ 第2回サポーターズデイ (1/28) ・ うえのdeにつぼん!キーワードラリー (2/6～3/18) ・ 大道芸 de ほっとZoo!!2018 (2/11,12) ・ 見つけてスタンプ！パンダフルアニマル (2/14～3/18) ・ うえのdeにつぼん!飼育係のトークツアー (2/16,3/2) ・ 世界野生生物の日 (2/22～3/25) ・ 東京動物園友の会・ジュニア会員対象イベント「うんこロジー入門」(3/3) ・ エキュート上野店連携イベント「モーニングズー」(3/4) ・ 第3回ジャイアントパンダ保護サポート基金パートナーズデイ (3/8～11) ・ 子ども動物園開園70周年記念先行イベント (3/23～4/22) ・ KDDI協賛イベント「動画でつくろう！くらべてみつけて動物図鑑」(3/26)

園 名	内 容
多摩動物公園	<ul style="list-style-type: none"> ・飼育の日イベント (4/15/16) ・こいのぼり展示 (4/20～5/9) ・開園記念日 園長と着ぐるみのお出迎え (5/5) ・マレーバク スペシャルトーク (5/7) ・オランウータン「ジュリー」誕生会 (5/7) ・友の会バスツアー「八ヶ岳山麓観察見学会」(5/28) ・ドリームナイト・アット・ザ・ズー in Tama (6/3) ・TZV旧類人猿舎裏側ガイド (6/25) ・オランウータン「アピ」誕生会 (6/25) ・七夕イベント～動物たちの願い事～ (6/29～7/9) ・子供写生画コンクール作品募集 (7/1～8/31) ・七夕キーパートーク (7/8,9) ・打ち水日和～江戸の知恵・東京のおもてなし～ (7/20) ・きみもフェアブル博士！昆虫を学ぼう (8/1) ・カブトムシってどんないきもの？ (8/4,6,10,14,17) ・サマーナイト@ Tama Zoo 2017-デビルもめざめる夜の動物園 (夜間開園：8/11～16,19,20,26,27) ・ユキヒョウの名前を募集 (9/7～12) ・長寿お祝いイベント (9/7～19) ・友の会の日 (9/9) ・アフリカフェアプレイイベント「京王の電車に乗って動物たちに会いに行こう！多摩&井の頭Zoo×けものフレンズ すたんぷらりー」(9/21～10/22) ・動物慰霊祭 (9/23) ・サポーターズデイ第1回 (9/30) ・りかびてんワークショップ「こだわりの塗り絵」(10/7,14) ・チョウの翅(はね)を観察しよう (10/14) ・Visit Zoo×散歩の達人 ザ★フォトZOOニック！(10/17～11/21) ・アフリカフェア (10/21,22) ・文化財ウィークイベント (10/28～11/5) ・子供写生画コンクール表彰式 (11/3) ・文化財ウィーク特別ガイドツアー「天然記念物の動物たち」(11/3,4) ・紙芝居「ジプシーおばあちゃん」(11/12) ・オランウータン「チェリア」3歳のお誕生日会 (11/19) ・東京都埋蔵文化センター共催イベント「縄文人がやってきた！縄文人の暮らしをのぞいてみよう！」(11/19)

園 名	内 容
	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマス特別企画イベント (11/30～12/25) ・新年イベント (1/2,3) ・年間パスポートキャンペーン (1/2～31) ・Visit ほっと Zoo 2017 (1/6～3/4) ・電車でまわろう！動物園&水族園スタンプラリー (1/6～3/4) ・VisitほっとZoo スペシャルウォッチング (1/6,13,20,27,2/3,10,17,24) ・オランウータン「キュー」の誕生日会 (1/8) ・どうぶつえん寄席 (1/14,2/17) ・オランウータンに恵方巻きのプレゼント (2/3) ・子ども向けワークショップ「オランウータン博士と一緒にかんさつ！」 (2/11) ・サイエンズカフェ (2/18,25) ・むしとなかよし (3/3) ・啓蟄トーク (3/3,4,10) ・サポーターズデイ第2回 (3/11) ・スタンプラリー2018—あしあとが教えてくれる動物たちの暮らし(3/15～31) ・鹿(しし) おどりパフォーマンス (3/18) ・ワークショップ「シカを学んで、鹿おどり」(3/18)
葛西臨海水族園	<ul style="list-style-type: none"> ・飼育の日イベント (4/16) ・マグロのぼり展示 (4/22～5/7) ・国際生物多様性の日企画スタッフトーク (5/28) ・打ち水日和～江戸の知恵・東京のおもてなし～ (7/20) ・Night of Wonder—夜の不思議の水族館 (夜間開園：8/11～16) ・ドリームナイト・アット・ザ・ズー&アクアリウム in Tokyo (9/23) ・開園記念イベント「All About MAGURO」(10/8～10) ・大好きな魚を食べ続けるために—自分だけの『お魚ありがとう缶詰』を作ろう (10/15) ・Visit Zoo×散歩の達人 ザ★フォトZOOニック！ (10/17～11/21) ・文化財ウィークイベント (10/28～11/5) ・ボランティアーズデイ (10/28) ・キッズカレンダー2018 (11/18,19) ・スイートツアー「海の中のオス♂メス♀事情」(12/23,24,2/10,12) ・新年イベント (1/2,3) ・年間パスポートキャンペーン (1/2～31) ・Visit ほっと Zoo 2017 (1/6～3/4)

園 名	内 容
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電車でまわろう！動物園&水族園スタンプラリー (1/6～3/4) ・ Deep of Wonder—不思議な深海の生き物たち (1/13～2/13) ・ 大道芸 de ほっとZoo!!2018 (1/21,2/24) ・ サポーターズデイ (3/10)
井の頭自然文化園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 飼育の日イベント (4/15,16) ・ 水生物館特設展スタンプラリー「昔からこんなにすごいで、井の頭池スタンプラリー」(4/9～7/21) ・ 春のスタンプラリー「Plamtanima—プランタニマ～植物と動物」(4/22～5/28) ・ 井の頭恩賜公園100歳記念ウィークイベント (5/1～7) ・ 開園記念日企画イベント (5/13,14) ・ おえかきZOO～どうぶつたちを描いてみよう (5/30～7/21) ・ ボランティアといっしょに動物クイズ 5つの質問at井の頭自然文化園 (6/4) ・ おえかきZOO父の日特別企画「みんなの絵をTシャツにしてプレゼントしよう」(6/18) ・ 第40回みたか商工まつり (7/15,16) ・ 打ち水日和～江戸の知恵・東京のおもてなし～ (7/20) ・ 怪談スタンプラリー「動物園怪談画劇—井之頭百物語・伍」(7/22～9/3) ・ スタンプラリー「ミロコマチコどうぶつさがし」(8/1～27) ・ もののけワークショップ—自分だけの妖怪をつくってみよう！ ・ ミロコマチコ ライブペインティング—おとのどうぶつ (8/20) ・ ミロコマチコ ライブペインティング作品展 (8/20～27) ・ 動物たちへの氷のプレゼント (8/11～15,19,20,26,27) ・ アフリカフェアイベント「京王の電車に乗って動物たちに会いに行こう！多摩&井の頭Zoo×けものフレンズ すたんぷらりー」(9/21～10/22) ・ 動物慰霊祭 (9/23) ・ ドリームナイト・アット・ザ・ズー&アクアリウム in Tokyo (9/23) ・ Visit Zoo×散歩の達人 ザ★フォトZOOニック！ (10/17～11/21) ・ 文化財ウィークイベント (10/28～11/5) ・ ヤマネコ祭2017～日本に暮らす生き物たち～ ・ 文化財ウィーク特別ガイドツアー「天然記念物の動物たち」(11/4) ・ 谷口高司「タマゴ式鳥絵塾」(11/23) ・ サポーターズデイ (11/26)

園 名	内 容
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正門広場のクリスマスツリー (12/1～24) ・ 文化園にサンタクロースがやってくる (12/23,24) ・ 文化園干支めぐりスタンプラリー「井の頭犬々図屏風」(12/16～1/8) ・ 新年イベント (1/2,3) ・ 年間パスポートキャンペーン (1/2～31) ・ 動物たちからの年賀状 (1/2～8) ・ Visit ほっと Zoo 2017 (1/6～3/4) ・ 電車でまわろう！動物園&水族園スタンプラリー (1/6～3/4) ・ 動物たちへの年賀状 (1/7～14) ・ 初笑い・わんにゃん寄席 (1/20) ・ 大道芸 de ほっと Zoo!!2018 (1/27) ・ バレンタインデー企画「オトナの恋はシジュウカラ」(2/6～26) ・ 大人の遠足「井の頭池のかいぼりの意味と実際を知る」(2/10) ・ February Concert at the Zoo (2/11,18,25) ・ February Concert at the Zoo_Special Jazz Night (2/17) ・ いのけん1級合格者ツアー (3/10) ・ サイエنزカフェ@Inokashira (3/11,25) ・ 日橋園長の飼育現場ガイド第1回 (3/18) ・ アジアゾウ舎運動場特別開放「はな子とサクラ。」(3/28～4/1) ・ 春のミニコンサート (3/28～31)

(5) 特設展・企画展

園 名	内 容
恩賜上野動物園	<ul style="list-style-type: none"> ・ ハペペ博士の研究所ーあしのナゾ (3/22～12/28) ・ 野間馬のふるさと・いまばりで遊ぼう！ (5/13～28) ・ 国際生物多様性の日企画揭示 (5/23～6/4) ・ 長年飼育・長寿動物 お祝い看板の設置 (9/5～24) ・ 「動物愛護に関する標語」入選作品揭示 (9/20～11/15) ・ パンダフルウィーク限定！ランランとカンカンの輸送箱展示 ・ 「野生のパンダ 動物園のパンダ」の揭示 (10/31～11/12) ・ ビバ！ 鋳金～芸大生がやってきた～ (10/31～11/19) ・ ミヤマモル——Dr.ペトルの秘密の倉庫 (3/26～12/28)
多摩動物公園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 飼育の日パネル展—来て・見て・知ろう 飼育係！ (4/6～5/9) ・ 昆虫園飼育展示係ってどんな人？何してる？ (4/6～5/9)

園 名	内 容
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホタル展 (6/1～20) ・ ミニ企画展「What's タスマニアデビル？」(6/15～7/11) ・ プレイベント 多摩のお山のカミキリ館 (8/13～9/5) ・ ミニ企画展「30年連続 コウノトリのたん生の記録」(8/16～10/3) ・ 秋の鳴く虫展 (9/7～26) ・ 昆虫園企画展「多摩のお山のカミキリ館」(9/28～11/28) ・ 美術作品展「りかびてん」(10/5～31) ・ 子供写生画コンクール 入選作品展 (11/2～28) ・ オガサワラシジミミニ企画展 (12/7～1/30) ・ 干支の企画展①「企画展タヌキ新年特別編～タヌキの真実が明らかに～」(12/7～3/13) ・ 干支の企画展②「企画展Wolf オオカミのいろいろな顔」(12/7～3/13) ・ 日本の伝統文化のなかに生きる動物たち (3/15～28)
葛西臨海水族園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏の特設展示「うなぎのつかみどころ」(7/20～11/28) ・ 写真展「ケイマフリ展——北方圏の海鳥たち」(11/9～12/5) ・ 特設展示「見えない海の生き物たち」(12/14～4/24)
井の頭自然文化園	<ul style="list-style-type: none"> ・ アジアゾウはな子について (1/31～) ・ 彫刻館特設展-Art and the Zoo Vol.3 西浦裕太作品展「カレラトイクトコ」(2/14～5/14) ・ 水生物館特設展「みんなの井の頭池 どんな池になってほしいですか？」(3/21～8/31) ・ 資料館絵本コーナー特設展「いのかしらしぜんぶんかえんのいちねん」(4/21～5/26) ・ 彫刻館特設展「井の頭恩賜公園100年写真展」(4/25～5/7) ・ アジアゾウはな子の献花台・記帳台の設置 (5/20～28) ・ 資料館絵本コーナー特設展「東京コミュニケーションアート専門学校～1年生成成の動物解説パネル展示」(6/3～7/2) ・ 資料館特設展示「プランタニマ：動物と植物の一年」(6/13～1/28) ・ 写真展「はな子のいる風景」(9/9～10/15) ・ 彫刻館特設展 谷口高司作品展「鳥たちへのおくりもの」(10/17～12/3) ・ 第47回「野鳥の巣箱コンクール」受賞作品展 (11/14～26) ・ 水生物館特設展示「私たちにできること アメリカザリガニは放さない」(11/30～5/6) ・ 彫刻館特設展—Art and the Zoo Vol.4 本田公夫作品展「消えゆく隣人たちのポートレート」(12/3～5/6) ・ ミニ展示コーナー「冬越しのいきもの展」(1/11～3/16)

園名	内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・東京の鳥を知っていますか？—身近に暮らすいろいろな鳥たち(3/27～7/1) ・ミニ展示コーナー「井の頭自然文化園のおたまじゃくし展」(3/31～)

(6) その他プログラム

実施月日	内容
恩賜上野動物園	<ul style="list-style-type: none"> ・国際生物多様性の日企画ツイート (5/18～22) ・「子ども動物園 すてっぷ」完成記念式典・内覧会(7/10) ・創エネ・あかりパーク2017 (11/1～5) ・猛獣脱出対策訓練 (2/13)
多摩動物公園	<ul style="list-style-type: none"> ・程久保まつり (9/10)
葛西臨海水族園	<ul style="list-style-type: none"> ・JAMSTEC横須賀 一般公開 (5/13) ・江戸川区金魚まつり (7/23,24) ・秋の公園フェスティバル (9/30) ・東京湾大感謝祭2017 (10/21,22)
井の頭自然文化園	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニクロ吉祥寺店キッズコーナーへ遊具設置 (2015/7/1～) ・「はな子」像除幕式 (5/5) ・三鷹国際交流フェスティバル (9/24) ・武蔵野市動物愛護展 (9/26～29) ・火災予防運動告知横断幕設置 (11/8～16) ・むさしの環境フェスティバル (11/12) ・井の頭かいぼり祭 (1/13,14) ・阿佐ヶ谷美術専門学校生徒作品展 (1/13～27) ・「けものフレンズ あんこーる！」京王の電車に乗って動物たちに会いにいこう！アンコール企画 (1/25～4/8) ・動物愛護・譲渡事業PRイベント (2/6～18)

3. 体験プログラム・フィールドプログラム

動物やその生息環境について、来園者が有意義に観察し、楽しみながら学べるよう、各種プログラムを企画し、実施した。

(1) 体験プログラム

園名	内容
恩賜上野動物園	<ul style="list-style-type: none"> ・サマースクール (7/21,22,25~28) ・こども動物大使 (7/22,8/15,10/22,10/29,12/17,2/12,3/11) ・大人のための動物園・水族園講座 (11/28~30)
多摩動物公園	<ul style="list-style-type: none"> ・サマースクール (8/1,3,7,8) ・大人のための動物園・水族園講座 (11/24,25)
葛西臨海水族園	<ul style="list-style-type: none"> ・進め!海のいきものたち (5/13,7/15,12/9,3/10) ・海のアソビや (5/27,7/8,10/7,1/14) ・海の学び舎 (6/18,12/10,2/25) ・集まれ!汐っ子たち2017 (7/23) ・大人のための動物園・水族園講座 (12/14,15)
井の頭自然文化園	<ul style="list-style-type: none"> ・文化園いきものクラブ (7/2,8/11,9/17,10/15,11/19,12/17,1/21,3/4) ・サマースクール (8/1~4,6) ・身近ないきもの探検隊 (6/24,7/17,10/9,11/3,1/8) ・大学生のためのズーカレッジ (9/7~10) ・大人のための動物園・水族園講座 (12/1,3)

(2) フィールドプログラム

園名	内容
4園合同企画	<ul style="list-style-type: none"> ・アカハライモリの保全現場を訪ねる (10/15) 於: 東京都多摩市
葛西臨海水族園・井の頭自然文化園 合同企画	<ul style="list-style-type: none"> ・親子ではじめる川遊び第1回「はじめて川遊び」(7/1,2) 於: 葛西臨海水族園内 ・親子ではじめる川遊び第2回「川の生き物を飼ってみよう」(7/29) 於: 東京都あきる野市 秋川
恩賜上野動物園	<ul style="list-style-type: none"> ・セミとコウモリの観察会 (8/5) 於: 不忍池畔
多摩動物公園	<ul style="list-style-type: none"> ・ホテル観察会 (6/16,17,19,20) 於: 園内 ・ムササビの棲む森を見よう (9/3) 於: 園内及び高尾山 ・初心者野鳥観察会 (3/4) 於: 園内及び動物ホール

園名	内容
葛西臨海水族園	<ul style="list-style-type: none"> ・「東京の海を知る」第1回「東京湾の人工干潟を訪ねる」(4/29) 於：葛西海浜公園 西なぎさ ・「東京の海を知る」第2回「東京湾の干潟とアマモ場を訪ねる」(6/25) 於：千葉県富津市 富津公園 潮干狩り場 ・「東京の海を知る」第3回「東京湾で魚を釣る・食べる」(9/10) 於：東京湾 江戸川放水路河口 ・「東京の海を知る」第4回「海の幸を獲る・味わう」(10/21,22) 於：千葉県安房郡鋸南町保田 保田漁港
井の頭自然文化園	・親子で井の頭池たんけん (9/18) 於：井の頭池

(3) 講演会

動物園・水族館及び自然、野生動物の知識を深めるために、大人から子供まで様々な年齢層を対象に、講演会を実施した。

① 動物園講演会

園名	演題・講師	参加者
合同 企画	<p>【小笠原保全講演会「小さなチョウをはぐくむ大いなる自然——小笠原の森林生態系」】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12/9 多摩動物公園にて実施 <p>基調講演「動物と植物のつながりから見た小笠原の生物多様性」 加藤 英寿氏 (首都大学東京大学院理工学研究科助教<植物系統分類学>)</p> <p>講演1「母島の自然を守るために考えなくてはいけないこと」 児嶋 翼氏 (オガサワラシジミの会<前環境省小笠原自然保護官事務所母島事務所職員>)</p> <p>講演2「多摩動物公園におけるオガサワラシジミの生息域外保全活動」 石島 明美 (多摩動物公園 教育普及課 昆虫園飼育展示係)</p> <p>講演3「都立動物園水族園による域外保全・新たな種への取組み」 藤井 智子 (多摩動物公園飼育展示課 野生生物保全センター長)</p>	55名
	<p>【連続講演会「身近な水辺の生き物を守る」第1回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3/4 井の頭自然文化園にて実施 <p>講演1「水辺のいきもの広場の取組みについて」 金原 功 (井の頭自然文化園 水生物館飼育展示係長)</p> <p>講演2「カメの目から見た環境問題 ～水辺の外来生物を中心として～」 矢部 隆氏 (愛知学泉大学 現代マネジメント学部 教授)</p>	87名

園名	演 題 ・ 講 師	参加者
	<p>【連続講演会「身近な水辺の生き物を守る」第2回】</p> <p>・3/18 葛西臨海水族園にて実施</p> <p>講演1「めだかの困惑——『東京めだか』を通じた保全活動」 河原 直明（葛西臨海水族園 調査係 主任）</p> <p>講演2「ゼニタナゴのいる水辺を守りたい！——伊豆沼・内沼ゼニタナゴ復元プロジェクト」 藤本 泰文 氏 （公益財団法人宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団 研究員）</p>	66名
	<p>【上野の山文化ゾーンフェスティバル連携企画 園長講演「世界の動物園事情」】</p> <p>・11/12 東京都美術館にて実施</p> <p>講演「世界の動物園事情」 福田 豊（上野動物園 園長）</p>	174名
上 野	<p>【干支の講演会2018「オオカミから生まれた『人類最良の友』】</p> <p>・1/21 東京都美術館にて実施</p> <p>（1）都立動物園・水族園4園の園長による新年のご挨拶と、最近の4園のニュースのご紹介 福田 豊（上野動物園 園長） 永井 清（多摩動物公園 園長） 日橋 一昭（井の頭自然文化園 園長） 田畑 直樹（葛西臨海水族園 園長）</p> <p>（2）講演「オオカミから生まれた『人類最良の友』」 藪田 慎司 氏（帝京科学大学 アニマルサイエンス学科教授）</p>	186名
	<p>【ジャイアントパンダ「リーリー&シンシン」来園7周年記念シンポジウム「上野動物園の限らない挑戦」】</p> <p>・2/12 東京国立博物館にて実施</p> <p>講演1「ジャイアントパンダが来園するまで」 福田 豊（上野動物園 園長）</p> <p>講演2「上野動物園におけるジャイアントパンダの飼育繁殖の取組み」 上野動物園 飼育展示課 東園飼育展示係</p> <p>講演3「ジャイアントパンダ保全の国際的な取組みについて——2017年国際学術年会より」 渡部 浩文（上野動物園 副園長兼飼育展示課長）</p> <p>トークセッション テーマ 「上野動物園におけるジャイアントパンダ保全の将来」 福田 豊、渡部 浩文、飼育展示課 東園飼育展示係、</p>	330名

園名	演 題 ・ 講 師	参加者
	筒井 隆司氏 (WWFジャパン事務局長)、 茅野 雅弘 氏 (上野観光連盟 事務総長) 【「東京動物園協会野生生物保全基金」報告講演会】 ・3/24 園内にて実施 講演1 ヤンバルクイナを野生に返す——絶滅回避のための放鳥の試み 講師：金城 貴也氏 (特定非営利法人どうぶつたちの病院 沖縄) 講演2 インドネシアのマレーヒョケザルの保全に向けて 講師：辻大 和氏 (京都大学霊長類研究所助教) 講演③ マダガスカルの原猿類を訪ねて——アイアイを中心に 講師：島 泰三氏 (日本アイアイ・ファン代表)	81名
	【タスマニアデビル来園1周年記念講演会「タスマニアデビルの今を知る」】 ・6/18 園内にて実施 講演1 「タスマニアの野生動物の成り立ち」 デービッド・シャープ氏 (タスマニア州政府 セイブ・ザ・タスマニアデビル・プログラム 飼 育管理責任者) 講演2 「タスマニアデビルを守る取組み」 デービット・ペンバートン氏 (タスマニア州政府 セイブ・ザ・タスマニアデビル・プログラム プ ログラム管理者) 講演3 「メイディーナ、マルジューナの一年」 永田典子 (多摩動物公園 飼育展示課 南園飼育展示係)	144名
多 摩	【アフリカフェア記念 講演会】 ・10/21 園内にて実施 基調講演 「国際化——日本とアフリカの友好関係」 ズマホン・ドスー・シール・ルフィン氏 (前駐日ベナン共和国特命全権大使) 「多摩動物公園で見られるアフリカから来た動物たち」 谷口 敦 (多摩動物公園 飼育展示課 北園飼育展示係長)	40名
	【ありがとう！オランウータンのジプシー——映像とお話でふりかえる 62年】 ・11/12 園内にて実施	236名
	【干支の講演会「タヌキのポン!？」】 ・1/13 園内にて実施 講演1 「タヌキのポン!？」	150名

園名	演 題 ・ 講 師	参加者
	高槻 成紀氏（麻布大学いのちの博物館） 講演2「タヌキ山のタヌキたち」 中島 亜美（多摩動物公園 飼育展示課 南園飼育展示係）	
	【Oh! オランウータン——森のヒトのふしぎ】 ・2/11 園内にて実施 講演1「オランウータンの身体のヒミツ」 大石 元治氏（麻布大学 獣医学部） 講演2「オランウータンの森のくらしのヒミツ」 山崎 彩夏（多摩動物公園 教育普及課 教育普及係 動物解説員） 講演3「オランウータンが見せる平和力」 田島 知之氏（京都大学 理学研究科）	230名
	【2018トキ野生復帰セミナー】 ・3/10 園内にて実施 講演1「東京の動物園とトキの関わりについて」 川鍋 政孝（多摩動物公園） 講演2「トキ野生復帰について」 若松 徹氏（環境省佐渡自然保護官事務所主席自然保護官） 講演3「トキの舞う環境が宝物。残して繋ぐ未来の宝」 大桃 美代子氏（タレント） パネルディスカッション	176名
	【ミニシンポジウム「日本の伝統文化のなかに生きる動物たち」】 ・3/18 園内にて実施 プロローグ「飼育係から見るワシ・タカの魅力」 多摩動物公園職員 講演「天狗の羽うちわに見るワシ・タカのちから」 東川 光夫氏（宝生流・能楽師） パネルディスカッション「伝統芸能と日本人の動物観」 パネラー：東川 光夫氏（宝生流・能楽師） 小岩 秀太郎氏（全日本郷土芸能協会 事務局次長、 東京鹿踊 代表） 田村 民子氏（伝統芸能の道具ラボ 主宰） 永井 清（多摩動物公園 園長） コーディネーター：鶴田 由美子氏（日本自然保護協会 事務局長）	74名
葛 西	【講演会「モシルンチカハ——島にいる海鳥たち」】 ・11/12 園内にて実施	42名

園名	演 題 ・ 講 師	参加者
	<p>第1部 ケイマフリ 愛を奏でる海のカナリア 寺沢 孝毅氏 (自然写真家、守りたい生命プロジェクト有限責任事業組合代表)</p> <p>第2部 海鳥をつかって外洋の汚染を調べる 綿貫 豊氏 (北海道大学 水産科学研究院 海洋生物資源科学部門 資源生物学分 野北極域研究センター教授)</p> <p>第3部 海鳥の楽園 天売島とその保全に向けて 竹中 康進氏 (環境省羽幌自然保護官事務所 自然保護官)</p> <p>第4部 水族園で海鳥を観察する 野島 大貴 (葛西臨海水族園 飼育展示係)</p>	
	<p>【深海トークショー】</p> <p>・1/21 園内にて実施</p> <p>第1部 「深海×しんかい6500×釣り」 田山 雄大氏 (日本海洋事業株式会社 深海技術部所属 しんかい6500副操縦士)</p> <p>第2部 「深海の喰う喰われる——ドラマティックな生き物たち」 土田 真二氏 (国立研究開発法人 海洋研究開発機構 海洋生物多様性研究分野 技術主幹 水産学博士 東京海洋大学連携大学院 准教授)</p>	75名
	<p>【大人のためのスイート講演会 Episode4 「子育てをめぐるオスとメスの かけひき」】</p> <p>・2/11 園内にて実施</p> <p>第1部 「異性へのふるまい、親としてのふるまい 魚の子育ての裏表」 狩野 賢司 氏 (東京学芸大学 教授)</p> <p>第2部 「オス同士は戦い、メスはオスを操る 一妻二夫魚の繁殖と子育て」 安房田 智司氏 (大阪市立大学 准教授)</p>	34名
井の頭	<p>【開園記念日企画 生物多様性講演会 「生物多様性を考える～植物と動物の 様々な関係～」】</p> <p>・5/13 園内にて実施 「葉っぱの多様性、花のレストランの多様性」 多田多恵子氏 (植物生態学者・理学博士)</p>	88名
	<p>【アジアゾウについて知る——飼育の現状とはな子からわかったこと】</p> <p>・6/25 園内にて実施</p> <p>講演1 「日本のアジアゾウ飼育、これまでとこれから」</p>	179名

園名	演 題 ・ 講 師	参加者
	乙津 和歌 (恩賜上野動物園 飼育展示課、(公社)日本動物園水族館協会生物多 様性委員会アジアゾウ計画管理者) 講演2「はな子の骨格標本からわかること」 川田 伸一郎氏 (独立行政法人国立科学博物館 動物研究部 脊椎動物研究グループ 研究員、農学博士)	
	【ヤマネコ講演会】 ・10/29 園内にて実施 演題 井の頭自然文化園が取り組むヤマネコ保全と韓国ヤマネコ事情 唐沢 瑞樹 (井の頭自然文化園 飼育展示係) 演題 ヤマネコの人工繁殖を目指した取組み 栗原 拓也 (井の頭自然文化園 飼育展示係)	26名
	【彫刻館特設展関連企画・本田公夫講演会「私と動物画と動物園」】 ・2/12 園内にて実施 講演テーマ「私と動物画と動物園」 本田 公夫氏 (野生生物保全協会 展示グラフィックアーツ部門スタジオマネー ジャー)	161名
	【第53回高碕賞表彰式と受賞記念講演会】 ・3/10 園内にて実施 受賞記念講演「モグラの上にも三年——餌をめぐるって試行錯誤」 熊谷 岳 (多摩動物公園南園飼育展示係) 動物園ニュース特別編「最近の井の頭自然文化園の話題いろいろ」 日橋 一昭 (井の頭自然文化園 園長)	42名

② 他団体との共催講演会

実施月日	9月9日
行 事 名	上野動物園×WWF・トラフィックセミナー—ペット取引される爬虫類
共 催	恩賜上野動物園、WWFジャパン、トラフィック
会 場	恩賜上野動物園
参加者数	50名

内 容	<p>動物園で飼育されている爬虫類の生態をはじめ、ペット人気の陰で絶滅の危機に瀕している種を守るための取組み、日本のペットショップで販売されている爬虫類の取引を巡る課題などを、専門家が解説。</p> <p>「上野動物園で保護されている爬虫類」 坂田 修一（上野動物園は虫類館飼育展示係）</p> <p>「レッドリストの変遷と日本産爬虫類の保全の課題」 太田 英利 氏（兵庫県立大学教授）</p> <p>「日本の爬虫類ペット市場」 Serene Chng 氏（TRAFFICプログラムオフィサー）</p>
-----	---

実施月日	11月14日
行 事 名	多様な生きものでつながる地域づくりシンポジウム
共 催	恩賜上野動物園、河川や水辺環境の保全・再生を考える関東エコロジカル・ネットワーク推進協議会
会 場	東京都美術館
参加者数	36名
内 容	<p>コウノトリやトキと共生する地域づくりをテーマとしたシンポジウムを開催。シンポジウムのほか、上野動物園での解説プログラムなども実施。</p> <p>シンポジウム 基調講演「コウノトリと共に暮らす関東の地域づくり」 林 良博氏（国立科学博物館 館長）</p> <p>取組み紹介 関東エコロジカル・ネットワーク推進協議会、自治体、NPO・企業など エクスカージョン 「上野動物園でコウノトリを知ろう！」</p> <p>地域づくり展示コーナー 「多様な生きものでつながる地域づくりコーナー」</p>
実施月日	2月4日
行 事 名	コウノトリ保全セミナー2018「コウノトリ野生復帰の現状と展望」開催
共 催	東京動物園協会、IPPM-OWS
会 場	天王寺動物園
参加者数	81名

内 容	<p>コウノトリの保全の教育普及を目的に、コウノトリの野生復帰やIPPM-OWSの活動を紹介。</p> <p>基調講演「動物生態学の理論に基づく野生復帰～現状と展望」 江崎 保男氏 (兵庫県立大学大学院 地域資源マネジメント研究科 研究科長・教授、 IPPM-OWS域内保全作業部会部会長)</p> <p>講演1「国内外の飼育施設における生息域外保全の取り組み状況」 高見 一利氏 (大阪市天王寺動物公園事務所)</p> <p>講演2「コウノトリの採餌物と生息域内の餌環境整備」 佐川 志朗氏 (兵庫県立大学大学院 地域資源マネジメント研究科 教授)</p>
--------	---

4. 学校教育との連携

(1) 各園実績

園 名	内 容
恩賜上野動物園	<ul style="list-style-type: none"> ・教員セミナー（3件103名） ・職場訪問（83件534名） ・職場体験（6件11名） ・団体見学指導（319件26,046名） ・教材貸出（257件） ・大学ほか実習生指導（55名） ・出張授業・講師派遣（16件） ・教師養成塾（3名）
多摩動物公園	<ul style="list-style-type: none"> ・教員セミナー（4件95名） ・職場訪問（9件129名） ・職場体験（8件25名） ・団体見学指導（200件12,326名） ・教材貸出（611件） ・大学ほか実習生指導（12名） ・出張授業（8件） ・教師養成塾（2名）
葛西臨海水族園	<ul style="list-style-type: none"> ・教員セミナー（3件63名） ・職場訪問（39件278名） ・職場体験（11件26名） ・団体見学指導（474件26,267名） ・教材貸出（4件） ・大学ほか実習生の指導（19名） ・出張授業・講師派遣（10件） ・教師養成塾（4名）
井の頭自然文化園	<ul style="list-style-type: none"> ・教員セミナー（4件102名） ・職場訪問（12件45名） ・職場体験（7件15名） ・団体見学指導（115件7,125名） ・教材貸出（23件） ・大学ほか実習生の指導（12名） ・出張授業・講師派遣（9件） ・教師養成塾（3名）

(2) 教員セミナーの開催

小学校を中心とした教員を対象として、飼育展示動物や施設を活かした生きものの観察法、飼育法、採集法、教授法等を紹介し、校外学習で利用するポイントと授業へのヒントを探る講座を開催した。

実施日	内 容	講 師	参加者
7月25日	井の頭池で調べる水辺の生きもの	井の頭:教育普及係、水生物館飼育展示係	16名
7月26日	骨から調べる動物の体とくらし	井の頭:教育普及係	24名
7月27日	身近なムシの調べ方・よび寄せ方	井の頭:教育普及係、飼育展示係	33名
7月28日	モルモット・メダカ等の飼育	井の頭:教育普及係、動物病院、飼育展示係、水生物館飼育展示係	29名
7月31日	5年理科 動物の誕生	多摩:教育普及係、野生生物保全センター	26名
8月1日	6年理科 「食べる」と「消化」	上野:教育普及係	17名
8月2日	動物園で学ぶ理科・国語	上野:教育普及係、動物病院係	45名
8月3日	動物園で学ぶ理科・国語	上野:教育普及係、動物病院係	41名
8月4日	3年理科 はじめての昆虫学	多摩:教育普及係	23名
8月7日	4年理科 動物の骨格と筋肉	多摩:教育普及係	23名
8月7日	干潟と生きものを知る	葛西:教育普及係	23名
8月8日	干潟と生きものを知る	葛西:教育普及係	23名
8月10日	3年理科 はじめての昆虫学	多摩:教育普及係	23名
2月3日	はじめての動物飼育 ——水の生きもの	葛西:教育普及係、飼育展示係、総務部： 協働事業係	17名

(3) 出張授業の開催

各園において動物園の仕事や動物の飼育管理などについて、職員が講師となり学校や図書館などに出向き出張授業を開催した。

実施園	出 張 先	実施件数
恩賜上野動物園	台東区立蔵前小学校ほか	16
多摩動物公園	府中市立四谷小学校ほか	8
葛西臨海水族園	市川市立南新浜小学校ほか	10
井の頭自然文化園	中央区立城東小学校ほか	9

(4) 連携推進用資料の作成と配布

校外学習などのための団体来園者に、少しでも有意義な見学ができるよう、生き物を見るポイントや園の見どころが分かるプログラム・教材を紹介した教育活用ハンドブックを各園で引率者の参考資料として配布した。

5. 移動水族館事業

葛西臨海水族園では、障害や病気などのために来園することが難しい方々のいる特別支援学校、病院、社会福祉施設、及び教育を目的としたイベント等を対象に、海の生き物に親しむ機会を提供する移動水族館事業を実施した。専用車を活用し、水族園外においてもイワシなど東京湾の魚をテーマにしたプログラム、ウニなど磯の生き物をテーマにしたふれあいプログラムなど、生き物の観察やふれあい体験を通じた普及啓発活動に取り組んだ。平成29年度を通じて、64回実施し、延べ17,852名が参加した。

6. 友の会運営

動物園・水族園への関心を高めるとともに、広く自然科学への興味を育ててもらうために組織している「東京動物園友の会」の運営を行った。

名 称	東京動物園友の会
会 員 数	一般：3,221名 ジュニア：301名（平成30年3月31日現在）
実 施 事 項	①新規入会、継続手続等、受付・管理事務 ②季刊雑誌「どうぶつと動物園」及びジュニア向け会誌「ZOO! どーぶつえん しんぶん」の送付 ③各種普及活動案内送付（ダイレクトメール） ④新規入会案内パンフレット及びポスターの作成及び配布

(1) 友の会会員対象催物

実施月日	行 事 名	内容・講師等	参加者
5月28日	八ヶ岳山麓観察見学会	藪内正幸美術館、八ヶ岳自然ふれあいセンター、やまねミュージアム見学 指導：多摩動物公園	42名
6月16日 6月17日 6月19日 6月20日	ホテル観察会	園内で発生するホテルを観察 指導：多摩動物公園	4日計 28名 (一般含 126名)

実施月日	行 事 名	内 容・講師等	参加者
8月5日	セミとコウモリの観察会	上野動物園でセミとコウモリを観察 指導：上野動物園	31名 (一般含 82名)
9月3日	ムササビ観察会	高尾山のムササビを観察 講師：岡林弘幸（中央大学附属高校教諭）、アシスタント2名 指導：多摩動物公園	24名 (一般含 34名)
10月21～ 24日	北の大地にくらす 野生動物ツアー	千歳さけます情報館、さけのふるさと千歳水族館、 北海道大学苫小牧研究林、帯広畜産大学、おびひろ動物園等見学 指導：井の頭自然文化園	29名
11月26日	富士サファリパークと湧水の里水族館見学会	富士サファリパーク、湧水の里水族館を見学 指導：上野動物園	40名
1月20日	アクアマリンふくしま見学会	アクアマリンふくしまを見学 指導：葛西臨海水族園	40名
1月21日	千支の動物講演会	4園の最近の話題 講演「オオカミから生まれた人類最良の友」 講師：薮田慎司（帝京科学大学教授）	137名 (一般含 186名)
3月4日	初心者野鳥観察会	初心者のための野鳥観察会 指導：多摩動物公園	13名 (一般含 32名)
3月10日	高碕賞表彰式・記念講演会	講演「モグラの上にも三年：餌をめぐって試行錯誤」 (多摩動物公園飼育展示係) 講演「オオアナコンダはメスだけで子をつくるのか」 (上野動物園は虫類飼育展示係) 井の頭自然文化園の最近の話題	一般含 42名

(2) ジュニア会員対象催物

実施月日	開 催 園	内 容	参加者
4月23日	葛西臨海水族園	さがせ！マグロのひみつ	24名
10月14日	井の頭文化園	自然の宝物さがし	39名
11月18日	多摩動物公園	どんぐりと動物たちを観察しよう	18名
3月3日	恩賜上野動物園	うんこロジー入門	52名

(3) 「友の会の日」の実施

平成29年度の「友の会の日」は多摩動物公園で開催し、講演会と園内特別見学会を実施した。また、友の会会員相互及び動物園スタッフとの交流を深めるための懇親会を開催した（133名参加）。

実施月日	催物名	内 容
9月9日	友の会の日 (多摩動物公園)	4園の最近の話題 第1部：講演「モグラの上にも三年」と園内特別見学 第2部：懇親会及びチャリティーバザー（ウォッチングセンター）

7. 資料の収集・公開

動物及び動物園・水族館関係の専門書や学術雑誌、普及雑誌を中心に収集した。定期刊行物は、購入や寄贈のほか、動物園、博物館、研究所等の出版物との交換により収集した。

写真・ビデオ等の映像資料のほか、動物の音声資料（録音データ）も園内外の利用に供した。収蔵図書については、ホームページ上に図書検索システムを設けている。

(1) 図書収集状況

区 分	収集 点数	国 内			国 外			摘 要
		購入	寄贈	交換	購入	寄贈	交換	
書籍類	135	93	32	0	10	0	0	収蔵数 和書 13,412冊 洋書 4,137冊
雑誌類	538	202	160	86	78	11	1	

(2) 図書利用一覧

区分	動物園	哺乳類	鳥 類	爬虫類	魚 類	無脊椎	一 般	その他	計
件数	48	27	7	4	0	0	9	27	122件

(都立動物園水族園関係者は除く)

(3) 映像資料利用状況

区 分	無 料		有 料		合 計	
写 真	24件	74点	168件	814点	192件	888点
ビデオ映像	3件	8点	98件	197点	101件	205点
音 声 資 料	1件	3点	7件	8点	8件	11点
計	28件	85点	273件	1,019点	301件	1,104点

(都立動物園水族園関係者は除く)

8. 出版事業

(1) 「東京動物園友の会」 会員向け機関誌の発行

動物及び動物園に関する情報を提供するための出版物を発行し、「東京動物園友の会」 会員その他関係機関等に配付した。

刊 行 物	内 容
どうぶつと動物園	<p>A4変型判・約54頁／約4,300部／春・夏・秋・冬号 (Vol.69-2～70-1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春号は多摩動物公園のソデグロヅル繁殖への取り組みや、葛西臨海水族園の移動水族館を紹介する記事を掲載した。 ・夏号は多摩動物公園のモグラ飼育の試みと実践、上野動物園のシロハラハイロエボシドリの繁殖、葛西臨海水族園が行っている小笠原でのユウゼンの生態調査について掲載した。 ・秋号は葛西臨海水族園におけるメンダコ飼育の取り組みや、上野動物園の飼育記録から明らかになったオオアナコンダの条件的単為生殖に関する記事を掲載した。 ・冬号は多摩動物公園の家畜馬トークイベントや、北海道天売島のウミガラスについて現地の保全活動と葛西臨海水族園での飼育管理の工夫について掲載した。 ・その他、研究や保全活動の最新知見として、宮崎県金華山で観察された野生ニホンジカの生活や、イリオモテヤマネコの保全に向けた現地での活動などを紹介した。
ZOO! どーぶつえん しんぶん	<p>A4判・8頁／約750部／8月・2月発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第18号（8月発行）は「カワウソ」を特集した。上野動物園と井の頭自然文化園で飼育するユーラシアカワウソと上野動物園と多摩動物公園で飼育するコツメカワウソについて、体の各部位の特徴や違い、観察ポイント等について解説した。また、世界のカワウソ類についてイラストとともに紹介した。 ・第19号（2月発行）は「魚のヒレ」を特集した。魚のヒレの特徴を紹介するとともに、生息環境や生態によってヒレの位置や形がどのように異なるかを解説し、また観察するポイントをまとめ、わかりやすく紹介した。

(2) 民間との協働による出版物

刊 行 物	内 容
みんなの上野動物園	A4変型判・12頁／約45,000部（第62号80,000部、第63号150,000部） みんなの上野動物園 第59号～第63号（5回）発行 ・上野動物園の話題の動物を取り上げ、動物園の魅力を伝える情報誌を発行し、園内や都庁に設置して配布した。
	第59号 上野動物園でくらすアジアゾウAtoZ、他
	第60号 夏休み自由研究のヒント、他
	第61号 新しくなった「子ども動物園すてっぷ」大解剖、他
	第62号 リーリー父になる、他
	第63号 シンシンとシャンシャン 母と子のきずな、他

(3) 葛西臨海水族園情報誌の発行

刊 行 物	内 容
SEA LIFE NEWS	A4判・4頁／約27,000部／第73号～第78号（6回）発行 ・以前発行していた機関誌「SEA LIFE NEWS」を葛西臨海水族園開園25周年を機に再刊し、展示生物についての情報や保全活動・調査活動などに関する情報を取り上げ、園内で配布した。
	第73号 発光生物 海の不思議な光の世界、他
	第74号 リニューアルした2つの水槽 そのみどころを大口開！？、他
	第75号 ウナギのあれこれ伝えます！ 特設展示「うなぎのつかみどころ」、他
	第76号 面白い繁殖生態を展示したい！ ナーサリーフィッシュ採集&現地調査 at Australia、他
	第77号 特集「海藻と海草」海の中の森と草原、他
	第78号 見えない世界が見えてくる？ 特設展示「見えない海の生き物たち」、他

(4) 高碕賞の表彰

季刊「どうぶつと動物園」に年間（平成29年春号～30年冬号）に掲載された記事及び写真を対象に、優れた作品を選出し、表彰した。

区分	表 題	掲載号	氏 名	摘 要
高碕賞	モグラの上にも三年——餌をめぐって試行錯誤	夏号	熊谷 岳	多摩動物公園
	オオアナコンダはメスだけで子をつくるのか	秋号	坂田修一	上野動物園
奨励賞	多摩動物公園のボルネオオランウータン	夏号	狩俣優太	
	多摩動物公園のオオフラミンゴ	秋号	菊谷利秋	
	多摩動物公園のボルネオオランウータン	冬号	緑川 労	

9. インターネット事業

都立動物園・水族園公式サイト「東京ズーネット」、上野動物園のジャイアントパンダ情報サイト「UENO-PANDA.JP」、上野動物園のジャイアントパンダライブ映像配信サイト「UenoPandaLive.jp」及びTwitter（5アカウント）を通じて、動物園・水族園の基本情報及び動物に関する情報を広く提供・配信した。

(1) ホームページ「東京ズーネット」の運営 (<http://www.tokyo-zoo.net/>)

【主なコンテンツ（主要コンテンツはスマートフォンに対応したページを公開）】

ページ名	内 容 等
ニュース&催物	都立動物園で飼育している動物に関する最新情報と各園催物情報
イベント情報	カレンダーによる日別のイベントスケジュール情報、定例イベント等に関する情報
各種利用案内	開園時間、休園日、入園料、団体入園、乳幼児・障害者対応、園内利用施設、交通アクセス、園内マップ
見どころと歴史	各園の特徴と見どころ、および歴史を紹介
保全への取組	野生生物や生物多様性の保全、研究、環境教育に関する取組みを紹介
どうぶつ図鑑	飼育動物に関する生態等の解説
東京ズーネットBB	動物の様々な行動の動画配信（平成30年3月31日現在計886点）
鳴き声図鑑	動物の鳴き声の音声配信

ページ名	内 容 等
東京動物園友の会	活動や会誌の紹介
ガイドツアー	各園の動物解説員が行うガイドツアーの内容及びスケジュール案内
蔵書検索	上野動物園資料室に収蔵されている動物関連図書の検索システム
動物園サポーター	動物園サポーターの紹介、登録方法、登録者リスト、会計報告
学校向けプログラム	教育機関のための各種プログラムの紹介
ガイドアプリ	上野動物園と葛西臨海水族園をガイドする都立公園ガイドアプリ「Tokyo Parks Navi」の紹介
おすすめコース	テーマに即した多摩動物公園の観覧コース
かんさつシート	多摩動物公園の「かんさつシート」の紹介
水族園魚タッチングシート	葛西臨海水族園で楽しく生物観察をするためのワークシートの紹介
移動水族館	葛西臨海水族園の「移動水族館」事業の紹介と申込案内
いきもの広場	井の頭自然文化園園内の「いきもの広場」の紹介、毎週の活動の紹介
モルモットふれあいコーナー	井の頭自然文化園モルモットふれあいコーナー事前学習ムービーによる紹介
花ごよみ	井の頭自然文化園の四季おりおりの植物を紹介

(2) ホームページ「UENO-PANDA.JP」の運営 (<http://www.ueno-panda.jp/>)

上野動物園のジャイアントパンダ情報サイトとして、展示個体ならびに過去に飼育した個体の情報、飼育係によるレポート、ジャイアントパンダに関する最新情報やQ&Aなどを紹介。また、保全への取組みやジャイアントパンダ保護サポート基金の紹介、さらには壁紙ダウンロードコーナーや企業協賛の募集等のコンテンツを加え、豊富な情報を掲載した。

【主なコンテンツ】

ページ名	内 容 等
トピックス	上野動物園のジャイアントパンダに関する最新情報
パンダプロフィール	上野動物園で展示している3頭の個体紹介
ジャイアントパンダについて	様々な角度からジャイアントパンダを紹介

パンダムービー	動画によるジャイアントパンダ紹介
歴代のパンダたち	これまで上野動物園で飼育した個体を動画とともに紹介
パンダ舎の紹介	ジャイアントパンダ舎を写真付きで紹介
パンダ大百科	ジャイアントパンダに関するQ&A
保全への取り組み	ジャイアントパンダ保護研究に関する概要
熊猫的新聞（パンダニュース）	飼育係による写真付きのレポート
壁紙ダウンロード	パソコン用にダウンロードできる壁紙を提供
ジャイアントパンダ保護サポート基金	基金の概要、企業協賛の募集

（３）ホームページ「UenoPandaLive.jp」の運営（<http://www.ueno-panda-live.jp/>）

上野動物園のジャイアントパンダ舎に設置したカメラ８台によるライブ映像を配信した（シャランシャン公開開始日の平成29年12月19日に配信開始）。ライブ配信は開園日の9時30分～17時。それ以外の時間帯は録画映像を配信した。

（４）Twitterによる情報発信

SNS媒体の一つである「Twitter」を活用し、４園及び東京ゾーネットの５アカウントから、積極的に情報を提供した。

アカウント	フォロワー数（平成30年3月31日現在）
恩賜上野動物園 @UenoZooGardens	944,241
多摩動物公園 @TamaZooPark	188,743
葛西臨海水族園 @KasaiSuizokuen	141,205
井の頭自然文化園 @InokashiraPark	76,755
東京ゾーネット @TokyoZooNet_PR	389,315

10. 映像記録資料制作

（１）動物写真撮影

都立動物園・水族園を中心に、飼育動物全般に関する記録及び園内外の行事や催物を撮影・記録した。

(2) ビデオ撮影・制作

飼育動物の行動記録や動物園情報をビデオ映像として撮影記録し、来園者向けニュースや各種研究発表として上映・提供するほか、ホームページ「東京ゾーネット」「UENO-PANDA.JP」において配信した。

内 容	時間	園名	主な使用目的
ミシシッピアカミミガメの求愛	19秒	上野	資料として提供
ビバリウム ヘイケボタルの発光	4分19秒	上野	資料として提供
ジャイアントパンダ出産まとめ	5分1秒	上野	理事会用
ジャイアントパンダ交尾・出産・子育て	5分26秒	上野	GP保護サポート基金会議用
ジャイアントパンダ交尾・出産・子育て	6分54秒	上野	理事会用
ジャイアントパンダ交尾・出産・子育て	1分50秒	上野	GP命名選考委員会用
アイアイ	1分27秒	上野	アイアイの森での放映用
ジャイアントパンダ交尾・出産・子育て	3分34分	上野	北京での報告用として提供
ナイトビバリウム	4秒	上野	ビバリウム上映用として提供
モリーお別れ会	5分34秒	多摩	資料として提供
ジャイアントパンダ出産・子育て	4分44秒	上野	評議員会用
ジャイアントパンダ出産・子育て	5分15秒	上野	GP名前おひろめ式放映用
ジャイアントパンダ交尾・出産・子育て	4分23秒	上野	GPシンポジウム講演用
シャンシャンの成長	5分55秒	上野	GP保護サポート基金運営委員会用
ジャイアントパンダ出産・子育て	10分25秒	上野	シャンシャン名付け親観賞用
ジャイアントパンダ交尾・出産・子育て	5分57秒	上野	WWF講演用
ツシマヤマネコ去勢・人工授精	118分57秒	上野	会議用
ジャイアントパンダお見合い・交尾まとめ	170分52秒	上野	資料として提供
マレーバクエコー検査	11分56秒	多摩	資料として提供
アヌーラの引越し	42分59秒	多摩	資料として提供
イベリアトゲイモリ	31秒	上野	ビバリウム特設展用として提供
シャンシャンの成長	5分55秒	上野	GP保護サポート基金運営委員会用
飼育研究会講演	73分14秒	上野	資料として提供
保全セミナー	332分20秒	上野	資料として提供

(3) 広報用資料の制作

動物園・水族園の広報発表時の写真資料に加え、ビデオ映像を撮影・制作し、提供した。

内 容	時間	園名	主な使用目的
ジャイアントパンダ (4月25日)	1分35秒	上野	報道発表資料
ジャイアントパンダ (5月17日)	1分15秒	上野	報道発表資料
ジャイアントパンダ (5月22日)	1分41秒	上野	報道発表資料
ジャイアントパンダ (5月29日)	41秒	上野	報道発表資料
ジャイアントパンダ (6月12日)	2分18秒	上野	報道発表資料
ジャイアントパンダ (6月5日)	52秒	上野	報道発表資料
ジャイアントパンダ (6月12日)	19秒	上野	報道発表資料
ジャイアントパンダ (6月13日)	29秒	上野	報道発表資料
ジャイアントパンダ (6月15日)	1分11秒	上野	報道発表資料
ジャイアントパンダ (6月16日)	1分01秒	上野	報道発表資料
ジャイアントパンダ (6月17日)	52秒	上野	報道発表資料
ジャイアントパンダ (6月18日)	30秒	上野	報道発表資料
ジャイアントパンダ (6月19日)	1分13秒	上野	報道発表資料
ジャイアントパンダ (6月22日)	1分7秒	上野	報道発表資料
ジャイアントパンダ (6月26日)	1分20秒	上野	報道発表資料
ジャイアントパンダ (7月2日)	1分3秒	上野	報道発表資料
ジャイアントパンダ (7月12日)	59秒	上野	報道発表資料
ジャイアントパンダ (7月22日)	1分8秒	上野	報道発表資料
ジャイアントパンダ (7月25日)	47秒	上野	報道発表資料
ジャイアントパンダ (8月1日)	1分25秒	上野	報道発表資料
ジャイアントパンダ (8月11日)	1分42秒	上野	報道発表資料
ジャイアントパンダ (8月21日)	1分37秒	上野	報道発表資料
ジャイアントパンダ (8月31日)	1分48秒	上野	報道発表資料
ジャイアントパンダ (9月10日)	1分53秒	上野	報道発表資料
ジャイアントパンダ (9月20日)	1分53秒	上野	報道発表資料

内 容	時間	園名	主な使用目的
ジャイアントパンダ (9月30日)	1分46秒	上野	報道発表資料
ジャイアントパンダ (10月10日)	1分33秒	上野	報道発表資料
ジャイアントパンダ (10月20日)	1分40秒	上野	報道発表資料
ジャイアントパンダ (10月30日)	1分19秒	上野	報道発表資料
ジャイアントパンダ (11月9日)	2分18秒	上野	報道発表資料
ジャイアントパンダ (11月19日)	2分00秒	上野	報道発表資料
ジャイアントパンダ (11月29日)	1分37秒	上野	報道発表資料
ジャイアントパンダ (12月9日)	2分13秒	上野	報道発表資料
ジャイアントパンダ (12月16日)	1分36秒	上野	報道発表資料
ジャイアントパンダ (12月25日)	1分46秒	上野	報道発表資料
ジャイアントパンダ (1月5日)	1分50秒	上野	報道発表資料
ジャイアントパンダ (1月9日)	30秒	上野	報道発表資料
ジャイアントパンダ (1月15日)	1分54秒	上野	報道発表資料
ジャイアントパンダ (1月25日)	1分43秒	上野	報道発表資料
ジャイアントパンダ (1月29日)	1分33秒	上野	報道発表資料
ジャイアントパンダ (2月5日)	1分40秒	上野	報道発表資料
ジャイアントパンダ (2月15日)	1分56秒	上野	報道発表資料
ジャイアントパンダ (2月25日)	1分40秒	上野	報道発表資料
ジャイアントパンダ (3月6日)	1分40秒	上野	報道発表資料
ジャイアントパンダ (3月16日)	1分40秒	上野	報道発表資料
ジャイアントパンダ (3月25日)	1分45秒	上野	報道発表資料

〔4〕受託業務

1. 恩賜上野動物園ジャイアントパンダ繁殖研究プロジェクトに係る業務受託

東京都からの委託により、都と中国野生生物保護協会の間で締結された「ジャイアントパンダ保護研究実施の協力協定書」に基づく研究プロジェクトについて、恩賜上野動物園におけるジャイアントパンダ繁殖に係る中国側専門家の受入れ、中国側の保護資金の使用状況に関する調査、プロジェクトの進展状況報告書の作成等の業務を実施した。

項 目	内 容
件 名	①上野動物園ジャイアントパンダ繁殖研究プロジェクトに関わる業務委託 ②ジャイアントパンダ繁殖研究プロジェクトに係る専門家受入れ業務委託
業 務 内 容	①中国側のパンダ保護資金の使用状況に関する調査業務 「ジャイアントパンダ保護繁殖研究プロジェクト」の進展状況報告書作成 ②パンダ繁殖に係る対応のための中国側専門家の受入
期 間	平成29年4月1日～ 30年3月31日
委 託 金 額	①4,140,720円 ②4,206,600円

2. 特別天然記念物トキの健康管理及び飼育指導に係る業務受託

新潟県からの委託により、佐渡市のトキ保護センター、野生復帰ステーションにおいてトキの定期検診及び飼育指導を行った。

項 目	内 容
件 名	特別天然記念物トキの健康管理及び飼育指導に関する業務委託
業 務 内 容	① 特別天然記念物トキの飼育・管理指導 ② 特別天然記念物トキの定期健康診断 ③ 特別天然記念物トキの疾病時における専門的治療 ④ 特別天然記念物トキの人工増殖の指導 ⑤ トキ類縁種の研究飼育指導
期 間	平成29年4月1日～ 30年3月31日
委 託 金 額	898,000円

3. 大島公園動物園動物飼育管理業務委託

東京都大島支庁の委託により、大島公園動物園で展示している動物を健全な状態で来園者が観察できるよう、動物の飼育、管理を行った。

項 目	内 容
件 名	大島公園動物園動物飼育管理業務委託
業 務 内 容	大島公園動物園の展示動物の飼育及びこれに関する管理業務
期 間	平成29年4月1日 ～ 30年3月31日
委 託 金 額	27,540,000円

〔5〕市民・団体との協働業務

1. ボランティアとの協働

上野動物園、多摩動物公園、井の頭自然文化園において展示動物の解説等の教育普及のほか、来園者案内等のボランティア活動を行っている「東京動物園ボランティアズ（TZV）」（登録者数782名）と、葛西臨海水族園で同様の活動を行っている「東京シーライフボランティアズ（TSV）」（登録者数145名）に対して、新規応募者や既存会員を対象とした研修会の開催、ニュースレターの発行やユニフォーム等活動経費の援助を行った。上野動物園では「NPO法人樹木・環境ネットワーク」、「恩賜上野動物園樹木美化ボランティア」が園内の樹木や花壇等の管理活動を行った。

（1）「東京動物園ボランティアズ」新規応募者対象研修会実施状況

園名	内容	実施回数	参加者数
恩賜上野動物園	①ドーセントグループ（DG）・サービスガイド（SG）新規応募者合同講習会	① 1回	① 76名
	②DG新規応募者前期講習会	② 1回	② 38名
多摩動物公園	DG新規応募者前期講習会	2回	41名
	DG新規応募者後期講習会	1回	35名
井の頭自然文化園	DG新規応募者後期講習会	1回	40名

（2）「東京シーライフボランティアズ」新規応募者対象研修会研修会等実施状況

園名	内容	実施回数	参加者数
葛西臨海水族園	ガイダンス研修	6回	70名

（3）ボランティア会員を対象とした研修会

園名	内容	参加者数
TZV	上野 新子ども動物園、クマ、ゾウ、パンダ、ニホンザル、両生爬虫類、等	187名
	多摩 アフリカンキャッツ、チンパンジー、アジアの山岳、等	52名
	井の頭 水辺のいきもの広場、都市の中の自然再生について、等	24名
TSV	葛西 マグロ、しらす、西なぎさ、移動水族館、等	100名

(4) ボランティアとの協働による教育活動等

園名		内容	実施回数
TZV	上野	園内スポットガイド、ふれあいコーナー活動等	565回
	多摩	園内スポットガイド、ふれあいコーナー活動等	558回
	井の頭	しおだまり、東京の海ガイド等	165回
TSV	葛西	園内スポットガイド、ヤマドリガイド等	453回

2. サポーター事業

個人及び団体、法人等から資金的支援を得て、都立動物園における動物飼育環境の改善に資するとともに、「動物園サポーター」として登録し、市民の動物園事業への理解と参画意識を促進した。

(1) 動物園サポーターの登録状況

園名	個人 (大人) 1口：10,000円	個人 (大学生以下) 1口：5,000円	子供 サポーター 1口：500円	法人 (団体) 1口：50,000円	金額
上野	296名 488口	16名 18口	15名 46口	7法人 10口	5,493,000円
多摩	169名 366口	12名 17口	21名 21口	1法人 1口	3,805,500円
葛西	16名 144口	4名 6口	3名 20口	1法人 1口	1,530,200円*
井の頭	56名 191口	1名 1口	7名 7口	2法人 2口	2,018,500円
合計	537名 1,189口	33名 42口	46名 94口	11法人 14口	12,847,200円

* 1口未満の寄付を含む

(2) サポーターを対象とした園内見学等の催物（サポーターズデイ）等の実施

実施月日	開催園	内容	参加者
6月18日	上野	講演会と収支報告	83名
9月30日	多摩	今年生まれた動物の紹介、動物舎で飼育係の解説	79名
11月26日	井の頭	ヤクシカえさやり体験、家畜舎・ツシマヤマネコ見学	34名
1月28日	上野	新「子ども動物園すてっぷ」ガイドツアー	99名
3月10日	葛西	「極地」エリア、「特設展」、等ガイドツアー	7名

3月11日	多摩	動物舎で飼育係の解説、新アジアゾウ舎特別見学	117名
-------	----	------------------------	------

(3) サポーター資金による飼育展示等の改善

園名	実施事項
恩賜上野動物園	①小獣館ミーアキャット展示改善 ②東園サル舎立木ベース設置
多摩動物公園	①ライオン仮設放飼場日除け設置 ②アフリカゾウ乾草吊り下げアーム設置 ③アフリカゾウ山砂設置 ④サーバル舎放飼場アスレチック製作設置 ⑤チーター遊具修繕 ⑥シロテテナガザル展示舎内綿ロープ設置 ⑦レッサーパンダ監視カメラレコーダー設置 ⑧アムールトラ遊具設置（丸ブイ、綿ロープ） ⑨ユキヒョウHDレコーダー設置 ⑩ユキヒョウ遊具設置（ジョリーボール） ⑪ユキヒョウ用ヤマモモ苗 ⑫オランウータン・テナガザル用果実苗 ⑬オランウータン用遊具設置（プラスチック舟）、練り樽 ⑭アジアゾウ及びアフリカゾウ特別給餌（スイカ） ⑮アジアゾウドラム缶設置 ⑯アカカンガルー（塩ビ管）
井の頭自然文化園	①ヤマネコ舎強化ガラス・丸太設置 ②家畜舎体重計設置 ③モルモットふれあいコーナードライ型ミスト発生機設置
葛西臨海水族園	①ミズダコ展示用擬岩設置

3. 関係団体への協力

(1) 国際自然保護連合への協力

国際自然保護連合（International Union for Conservation of Nature and Natural Resources 略称 IUCN）の委員会である種保存委員会（Species Survival Commission 略称SSC）の保全計画専門家グループ（Conservation Planning Specialist Group 略称CPSG）へ、事業援助のため寄付を行った。

(2) 関係団体への協力

動物園事業に関係する20の団体に参加し、情報の交換や募金活動への協力を行った。

[加入団体]

会員区分	団 体 名	会員区分	団 体 名
特別賛助会員	(公財)世界自然保護基金ジャパン	団体会員	日本霊長類学会
賛助会員	(公財)日本鳥類保護連盟	〃	(一社)日本応用動物昆虫学会
〃	(公財)山階鳥類研究所	〃	(一社)日本環境教育学会
維持会員	(公社)日本動物園水族館協会	〃	日本昆虫学会
団体会員	(公財)日本博物館協会	〃	日本動物行動学会
〃	日本哺乳類学会	〃	日本鱗翅学会
〃	(一社)日本生態学会	〃	日本鳥学会
〃	(公財)日本動物学会	〃	日本爬虫両棲類学会
〃	(公財)日本自然保護協会	〃	(一社)日本生物教育学会
〃	日本動物心理学会	〃	(公社)日本造園学会

(3) 動物愛護週間中央行事への協賛

実施月日	9月23日(屋外行事)、9月24日(屋内行事)
行事名	動物愛護週間中央行事
主催	環境省、東京都ほか計11団体
内容	「動物愛護ふれあいフェスティバル」の各種行事やシンポジウム等に協賛した。
会場	上野恩賜公園(屋外行事)と東京国立博物館平成館講堂(屋内行事)

4. 基金事業

(1) ジャイアントパンダ保護サポート基金の運営

募金やドネーション商品からの寄付、企業からの協賛金等を積立て、ジャイアントパンダ保護に向けた普及啓発活動や上野動物園での飼育環境の向上、東京都と中国が共同で進めている繁殖研究プロジェクトへの支援に活用した。

①収入の状況

項目	金額	内容
寄付金	48,592,969円	①園内外募金箱への募金 ②SAVE the PANDAパートナーズ ほか
企業協賛金	18,522,158円	①園内広告協賛 ②園内イベント協賛 ほか
ドネーション商品 売上金からの寄付金	14,356,944円	オリジナルドネーション商品売上金額の5% アイテム数：60点（ぬいぐるみ、お菓子ほか） 売上点数：249,967点

②基金活用の状況

使 途	活用内容	活用金額
ジャイアントパンダの保護に向けた普及啓発活動	シンポジウムや観察会、パンダの日イベントの開催ほか	290,448円
上野動物園におけるジャイアントパンダの飼育環境の向上	電気刺激装置等の更新、ジャイアントパンダ出産育児観察機器の設置	1,902,270円
東京都と中国野生動物保護協会が共同で進める国際的なパンダ保護活動	東京都と中国の共同繁殖プロジェクト支援（東京都へ寄付）	10,000,000円

③基金残高

基金残高	103,724,330円（平成30年3月31日現在）
------	----------------------------

④ジャイアントパンダ保護サポート基金運営委員会の開催

基金を適正に管理し事業に活用するため、ジャイアントパンダ保護サポート基金運営委員会を開催した。

〔委員・顧問〕

役 職	氏 名	職 名
委 員 長	菅 谷 博	ミュージアムパーク茨城県立自然博物館名誉館長
副 委 員 長	中 野 透	公益財団法人東京動物園協会理事長
委 員	湯川れい子	音楽評論家・作詞家
委 員	二 木 忠 男	上野観光連盟会長
委 員	片 山 謙	東京都建設局次長
顧 問	黒 柳 徹 子	女優・ユニセフ親善大使

〔運営委員会〕

回	開催月日	議 題
第 1 回	7 月 10 日	(1) 平成28年度決算報告について (2) 平成29年度基金事業について
第 2 回	1 月 22 日	(1) 平成29年度基金進捗状況について (2) 平成30年度基金事業・予算（案）について

(2) 東京動物園協会野生生物保全基金の運営

野生生物の保全に積極的に取り組む個人・団体の支援を目的として、助成対象活動を公募し、審査のうえ、助成金交付を行った。また、助成対象活動及び基金事業のPRのために講演会を開催したほか、事業の紹介や助成対象活動についての啓発を目的としたパンフレットを制作し、配布した。

①助成金交付実績

〔平成29年度〕

*平成29年2月1日～2月28日公募。28年度内に助成対象を決定し、29年度に助成金を交付。

助成対象活動名	助成対象者	交付額
インドネシアのマレーヒョケザルの保全に向けて：謎に包まれた夜間行動の解明	辻 大和	500,000円
野生ヨウムの野生復帰と密猟防止のための戦略	特定非営利活動法人アフリカ日本協議会	497,000円
マダガスカル北西部原猿類調査	日本アイアイ・ファンド	492,000円

飼育下ハシビロコウの繁殖にむけたペアリング適期把握のための生理状態と行動パターンの解明	岐阜大学応用生物科学部動物繁殖学研究室（動物保全繁殖学）	500,000円
---	------------------------------	----------

②収入の状況

寄付金	50,321,291円	企業・個人からの寄付、友の会の日バザー売上金
-----	-------------	------------------------

③基金残高

基金残高	57,631,243円（平成30年3月31日現在）
------	---------------------------

④東京動物園協会野生生物保全基金審査委員会の開催

助成対象活動の選定を適正かつ公正に行うため、東京動物園協会野生生物保全基金審査委員会を開催し、助成対象活動を選定した。

〔審査委員会〕：

開催月日	議 題
3月16日	平成30年度助成対象活動選定について

⑤助成金交付予定

〔平成30年度〕

*平成30年2月1日～2月28日公募。29年度内に助成対象を決定し、助成金は30年度に交付。

助成対象活動名	助成対象者	交付額
セマルハコガメの保全遺伝学研究	鈴木 大	498,800円
湿性草原棲クイナ類の生息状況調査手法の評価	特定非営利活動法人 おおせっからんど	500,000円
琉球列島に生息するクビワオオコウモリ保全のための音響学的研究	島コウモリ調査グループ	500,000円
キリンにおける繁殖生理の非侵襲的調査法の確立と性成熟年齢の解明	岐阜大学応用生物科学部動物繁殖学研究室（動物保全繁殖学）	500,000円

⑥「東京動物園協会野生生物保全基金」講演会（会場：上野動物園管理事務所、参加者81名）

実施月日	内 容
3月24日	講演①「ヤンバルクイナを野生に返す——絶滅回避のための放鳥の試み」 金城貴也 氏（特定非営利法人 どうぶつたちの病院 沖縄） 講演②「インドネシアのマレーヒヨケザルの保全に向けて」

辻大和 氏（京都大学霊長類研究所助教）

講演③「マダガスカル原猿類を訪ねて——アイアイを中心に」

島泰三 氏（日本アイアイ・ファンド代表）

〔6〕危機管理対策

平成29年度は「命を預かる現場としての安全確保や事故発生抑止、事業継続計画の推進、情報セキュリティ対策の強化など危機管理対策の拡充」を組織方針の一つに掲げ、全職員の危機管理意識の向上に努めた。

(1) 事業継続 (BCP) 計画

大規模災害の発生を想定し、備蓄品の確保やマニュアルを整備したほか、訓練を通して関連団体との連携を強化し災害対応力を向上させた。平成29年度は24年度より継続して訓練を実施してきた震災対策訓練に加えて、恩賜上野動物園及び葛西臨海水族園において当協会ですべて初めて警視庁との協働によるテロ対策訓練を実施した。

	開催日	目的
第1回BCP訓練	井の頭 6/12 上野 7/3 多摩 7/12 総務部 10/25	災害対応力の向上を目的として全園で実施 ・前年度の未達項目の解消を確認 ・初動対応及び災害対策本部運営の確認 ・関係団体との連携強化
参集訓練	総務部・4園 11/24	参集経路の確認と参集者による災害対策本部立ち上げを実施
第2回BCP訓練	葛西 12/6 多摩 12/13 井の頭 12/19	災害対応力の向上を目的として実施 ・前回の未達項目の解消を確認 ・初動対応及び災害対策本部運営の確認 ・関係団体との連携強化 ・事業継続計画の机上訓練 (多摩・葛西・井の頭)
テロ対策訓練	葛西 7/4 上野 12/4	テロの発生抑止と対応力の向上を目的として実施 ・セキュリティ意識の向上 ・初動対応の確認 ・警察・関係団体との連携強化

(2) 災害時対策

台風や大雨等の気象警報発令時等には、巡回点検や職員の事務所待機を行い災害時に備えるとともに、被害復旧対応を行った。

また、恩賜上野動物園において、地震発生によりマレーグマ舎放飼場の木が倒れ、マレーグマ1頭が脱出したという想定により、動物脱出対策訓練を平成30年2月に実施した。訓練では、来園者の避難誘導・関係機関への通報・脱出動物の追跡保護・AED (自動体外式除細動器) を使用した負傷者救護などを行った。

(3) 工事等安全講習会

工事等を委託する指定店事業者を対象に、労働基準監督署より講師を招き、建設工事の安全について講習会を行い、101社（103名）が参加し安全指導を行った。

(4) 事故防止研修

施設課職員を対象に四半期ごとに行われる施設課全体会の中で、ビデオを活用した事故防止科研修を行った。また、安全対策を習慣化するため、KY（危険予知）ミーティングを実施し、注意喚起を行った。

(5) 情報セキュリティ対策

組織、業務管理上のセキュリティ対策として「安全管理措置・実施手順ガイドライン」を10/1に策定した。また、各課の情報セキュリティ担当・補助担当者向けの集合研修を12/4と12/6に実施した。

システム、情報機器に関しては、ウイルス対策ソフトの機能向上により、ランサムウェア対策とプラットフォームへの対応を強化した。ネットワーク接続可能な情報機器は、前年度同様、管理を徹底した。

第3 収 益 事 業

I. 事業総括

恩賜上野動物園、多摩動物公園、葛西臨海水族園、井の頭自然文化園の利用者の利便と公益目的事業の充実のために、以下の事業を実施した。

事業区分	事業細目		
	園名	種別	箇所数
I. 便益施設の経営	(1) 恩賜上野動物園	(1) 売店	4
		(2) 飲食店	2
		(3) 臨時売店	1
		(4) 自動販売機コーナー	13
		(5) 写真(映像資料)貸出	1
		(6) ベビーカー貸出所	2
		(7) コインロッカー	1
		(8) フォトサービス	1
	(2) 多摩動物公園	(1) 売店	4
		(2) 飲食店	1
		(3) 臨時売店	4
		(4) 自動販売機コーナー	13
		(5) ベビーカー貸出所	1
		(6) コインロッカー	1
		(7) ライオンバス	1
		(8) フォトサービス	1
(3) 葛西臨海水族園	(1) 売店	2	
	(2) 飲食店	1	
	(3) 自動販売機コーナー	3	
	(4) コインロッカー	2	
(4) 井の頭自然文化園	(1) 売店	2	
	(2) 自動販売機コーナー	3	
II. その他事業	(1) 恩賜上野動物園内広告事業(広告施設10箇所) (2) 協賛金募集事業(ジャイアントパンダ保護サポート基金等)		

Ⅱ. 事業実績

〔1〕 便益施設等の経営

1. 施設及び収入額

(単位：千円)

園 名	施 設 名	収 入 額
恩賜上野動物園 ※改修工事のため 閉鎖中	1. 1号売店 (店名：リトルトランク) 2. 4号売店 (店名：カメレオン) 3. 東園中央広場売店 (店名：バードソング) 4. 東食売店 (猿山前) ※ 5. 飲食店第1号 (東園) ※ 6. 飲食店第2号 (西園) 7. 臨時売店 8. 自動販売機コーナー 9. ベビーカー貸出所 10. コインロッカー 11. フォトサービス 12. 写真 (映像資料) 貸出 13. その他	2,319,961
多摩動物公園 ※改修工事のため 閉鎖中	1. 2号売店 (コアラ館) 2. 3号売店 (ライオン園) 3. 4号売店 (店名：コレクション) 4. 5号売店 (店名：ズーカフェ) 5. 飲食店 (アフリカ園) ※ 6. 臨時売店 7. 自動販売機コーナー 8. ベビーカー貸出所 9. ライオンバス ※ 10. コインロッカー 11. フォトサービス 12. その他	491,176
葛西臨海水族園	1. 1号売店 (店名：アクアマリン) 2. 2号売店 (店名：アクアスケープ) 3. 飲食店 (店名：シーウインド) 4. 自動販売機コーナー 5. コインロッカー 6. その他	523,727

井の頭自然文化園	1. 1号売店（店名：はな子カフェ） 2. 2号売店（店名：こもれび） 3. 自動販売機コーナー 4. その他	112,704
合 計		3,447,568

2. 商品取扱状況

(単位：点)

区 分		恩賜上野 動物園	多摩 動物公園	葛西 臨海水族園	井の頭 自然文化園
取扱商品数		1,177	1,114	1,455	217
内 訳	ギフトその他	963	968	1,305	116
	飲 食 品	214	146	150	101

〔2〕 その他の事業

1. 恩賜上野動物園内広告事業

恩賜上野動物園の案内誘導サイン等の整備費用に充てるため、園内に設置した下記の広告掲示施設により、広告料金による民間からの資金を得た。

種 別	設 置 場 所	数 量
動物解説ボード	ジャイアントパンダ、ニホンザル、サイ、ゾウ、ゴリラ、ワシ・タカ、キリン・オカピ、ハシビロコウ	8基
環境啓発ボード	モノレール東園駅前	1基
収 入 額	3,913 千円	

2. 協賛金募集事業

ジャイアントパンダ保護サポート基金を活用した事業展開のため、園内メディアやイベントの協賛、園外でのロゴマーク協賛などを実施した。

収 入 額	18,522 千円
-------	-----------

第 4 事 務 報 告

I. 役員会議の開催

〔1〕 評議員会

回	開催月日	議 題
※	4月19日	(1) 理事の選任について
第1回	6月29日	(1) 平成28年度決算報告(案)について 監査報告 平成28年度事業報告について
※	7月25日	(1) 理事の選任について
※	8月8日	(1) 常勤理事の報酬総額の変更について (2) 常勤理事の報酬に関する規程の一部改正について
※	3月8日	(1) 常勤理事の報酬総額の変更について (2) 常勤理事の報酬に関する規程の一部改正について

※書面表決による決議

〔2〕 理 事 会

回	開催月日	議 題
※	4月12日	(1) 評議員会の開催について
第1回	6月14日	(1) 平成28年度事業報告(案)について (2) 平成28年度決算報告(案)について 監査報告 (3) 定時評議員会の開催について (4) 個人情報の保護に関する規程の一部改正について 理事長及び常務理事の職務状況報告
※	7月18日	(1) 評議員会の開催について
第2回	8月1日	(1) 理事長の選定について (2) 評議員会の開催について
※	8月15日	(1) 常勤理事の報酬額(案)について
※	9月25日	(1) 育児・介護休業に関する規程の一部改正について

回	開催月日	議 題
※	2月22日	(1) 評議員会の開催について
第3回	3月23日	(1) 平成30年度事業計画(案)について (2) 平成30年度収支予算(案)について (3) 資金調達及び設備投資の見込みについて (4) 常勤理事の報酬額の変更について (5) 参与の委嘱及び報酬額について (6) 諸規程の一部改正について 理事長及び常務理事の職務状況報告
※	3月27日	(1) 評議員会の開催について

※書面表決による決議

〔3〕評議員選定委員会

回	開催月日	議 題
第1回	5月18日	(1) 評議員の退任にともなう後任者の選任について
第2回	10月19日	(1) 評議員の退任にともなう後任者の選任について

Ⅱ. 監 査

〔1〕京橋監査法人と監査契約を締結し、公認会計士による会計帳簿・証憑書類の試査、実地棚卸立会、現金実査、銀行残高確認等の外部監査を実施した。

〔2〕平成28年度の事業報告及び決算報告について、29年6月6日に監事による監査を実施した。

Ⅲ. 人事関係

〔1〕 就任・退任

① 評議員の就任

役職名	氏名	就任月日	摘要
評議員	両角みのる	5月31日	東京都議会環境・建設委員長
〃	細川卓巳	5月31日	東京都東部公園緑地事務所長
〃	大道和彦	5月31日	東京都西部公園緑地事務所長
〃	田の上いくこ	10月31日	東京都議会環境・建設委員長
〃	片山謙	10月31日	東京都建設局次長

② 評議員の退任

役職名	氏名	退任月日	摘要
評議員	中野透	7月14日	東京都建設局次長
〃	両角みのる	7月22日	東京都議会環境・建設委員長
〃	細川卓巳	3月31日	東京都東部公園緑地事務所長

③ 理事の就任

役職名	氏名	就任月日	摘要
理事	日浦憲造	4月28日	東京都建設局公園緑地部長
理事長	中野透	8月1日	東京都建設局理事

④ 理事の退任

役職名	氏名	退任月日	摘要
理事長	中野透	3月31日	東京都建設局理事

〔2〕役員等名簿（平成30年3月31日現在）

○総 裁 常陸宮正仁親王

○会 長 貫 洞 哲 夫

（1）評 議 員

No.	氏 名	摘 要
1	林 良 博	国立科学博物館長
2	高 橋 茅 香 子	翻訳家
3	松 島 ト モ 子	俳優
4	内 山 辰	動物写真家
5	久 邦 彦	漫画家・絵本作家
6	海老名香葉子	エッセイスト
7	篠 永 哲	元東京医科歯科大学大学院助教授
8	遠 藤 秀 紀	東京大学総合研究博物館教授
9	今 泉 忠 明	日本ネコ科動物研究所長
10	林 公 義	前横須賀市自然・人文博物館長
11	三 浦 慎 悟	早稲田大学人間科学学術院教授
12	安 藤 元 一	ヤマザキ学園大学動物看護学部教授
13	田 の 上 い く こ	東京都議会環境・建設委員長
14	片 山 謙	東京都建設局次長
15	細 川 卓 巳	東京都東部公園緑地事務所長
16	大 道 和 彦	東京都西部公園緑地事務所長
17	佐 野 克 彦	公益財団法人東京都公園協会理事長

(2) 理事・監事

No.	役職名	氏 名	摘 要
1	理事長（常務）	中 野 透	東京都建設局理事
2	理 事（常務）	滝 澤 達	元東京都建設局公園緑地部長
3	理 事（常務）	熊 倉 伸 一	前公益財団法人東京動物園協会事業調整担当部長
4	理 事	菅 谷 博	ミュージアムパーク茨城県立自然博物名誉館長
5	”	羽 仁 進	映画監督・評論家
6	”	青 木 淳 一	横浜国立大学名誉教授
7	”	島 津 久 永	公益財団法人山階鳥類研究所顧問
8	”	見 城 美 枝 子	青森大学副学長、エッセイスト
9	”	長 谷 川 寿 一	東京大学大学院総合文化研究科教授
10	”	西 源 二 郎	前東京都葛西臨海水族園 園長
11	”	加 藤 勉	京王電鉄株式会社相談役
12	”	日 浦 憲 造	東京都建設局公園緑地部長
1	監 事	木 村 欣 二	前あかつき証券株式会社顧問
2	”	須 賀 光 一	上野のれん会会長
3	”	今 村 篤 夫	東京都建設局総務部長

(3) 参 与

No.	氏 名	摘 要
1	田 畑 直 樹	葛西臨海水族園 園長
2	山 下 博 史	公益財団法人東京動物園協会総務部施設課長

(4) 顧問

No.	氏名	摘要
1	小池百合子	東京都知事
2	石内展行	元財団法人東京動物園協会理事長
3	浅倉繁春	元財団法人東京動物園協会理事長
4	矢島稔	元財団法人東京動物園協会理事長
5	齋藤勝	元財団法人東京動物園協会理事長
6	浅倉義信	元公益財団法人東京動物園協会理事長
7	藤井芳弘	元公益財団法人東京動物園協会理事長

(5) 正会員

[賛助会員] 上田 浩 斉藤進一 上田憲治 上田清一 関 齋